

2019年8月21～23日①

憲法・改憲、防衛白書・予算概算要求・自衛隊・米軍、沖縄・翁長没1年、政局、対馬丸、横浜カジノ

首相演説一本化など独自色次々と 「山東カラー」に与野党困惑も

毎日新聞 2019年8月22日 20時47分(最終更新 8月22日 20時47分)



積極的に発信する
山東昭子参院議長

憲法改正について一度も国会できちんと議論されていないのはちよつと正常ではない。憲法審査会が活発に動くことを期待している(議長就任会見で)

首相の所信表明演説などについて衆参会わせて聴取してはどうか。議場内へのパソコンの持ち込みを可能にしてはどうか。女性の上着着用義務の廃止はどうか(山東氏の提案を議題委員長が報告)

積極的に発信する山東昭子参院議長

長

今月1日に選出された山東昭子参院議長(77)＝自民出身、比例代表＝が独自色の打ち出しに躍起だ。首相が衆参両院でそれぞれ行う施政方針演説の一本化などを提案。憲法改正の議論促進も訴えた。中立公平が求められる議長が積極的に発する「山東カラー」の言動に、与野党から困惑の声もくすぶる。

山東氏は就任早々、自民党の末松信介参院議院運営委員長に電話し、首相の施政方針演説や所信表明演説など衆参の本会議でそれぞれ行う演説の一本化▽本会議場での女性の上着着用義務の廃止▽ノートパソコンの議場への持ち込みを許可――を提案。末松氏は8月5日の参院議運委理事会で報告した。特に施政方針演説の内容は衆参両院で同じであるため、一元化すれば、首相や閣僚の出席回数を省き、時間短縮にもつながる。

ところが山東氏の提案は各党への事前説明はなく、野党は反発。理事会では具体的な協議に入れなかった。立憲民主党の蓮舂参院幹事長はツイッターで「院の運営は議長の専任事項ではない」と批判。同党幹部は「別にやってもいいけど、ちゃんと根回ししろよって話だ」と語る。

演説の一元化は2002年にも当時の小泉純一郎首相が国会改革の一環で与党幹部に検討を指示したが、野党から「両院の独立性を定めた憲法に抵触する」などとの反発を受け断念した経緯がある。自民党内でも「提案自体はおかしくないが、やっかいな問題だ」(関係者)との声があり、党幹部は「いったん寝かす」とクールダウンを図る構えだ。公明党の山口那津男代表も「両院制の根幹に関わることなので慎重に議論を進めていただきたい」と注文した。

山東氏は就任直後の1日の記者会見でも「憲法審査会が活発に動くことを期待している」と発言。隣に座った立憲出身の小川敏夫副議長から即座に「数の力で結論に持っていく議論であってはならない」とクギを刺された。

参院関係者は「何もやらない議長よりいい」と評価しつつも「踏み込みすぎた発言は国会運営を混乱させる可能性もある」と漏らす。【佐藤慶】

性急な改憲、民意は賛成せず 共産・笠井政策委員長

2019/8/22 2:00 情報元日本経済新聞 電子版



共産党の笠井亮政策委員長

共産党の笠井亮政策委員長は日本経済新聞のインタビューで、安倍晋三首相が憲法改正の議論を呼びかけていることについて「変えるべきなのは憲法ではなく、憲法をないがしろにしている安倍政治だ」と述べた。

憲法9条に自衛隊を明記する自民党の改憲案に関しては「無制限に海外での武力行使が可能になる。そうした方向には断固反対だ」と主張した。「我々の対案は日本国憲法そのものだ。現行憲法の全条項を守っていく」と訴えた。

参院選で自民、公明両党に日本維新の会などを加えた改憲勢力が3分の2を下回ったことに触れ「国民が安倍首相の改憲のたくらみに明確な審判を下した」と強調した。「期限ありきの性急な改憲には賛成できないというのが主権者である国民の民意だ」と語った。

衆参両院の憲法審査会が開かれない現状については「憲法審は一般的な憲法の議論をする場ではなく、憲法改正原案をつくる場だ。国民の多数は改憲を望んでいないわけだから憲法審を動かす必要がない」と話した。

「参院選前に野党党首が市民連合とそれぞれ署名した共通政策で『安倍政権での改憲に反対する』と明記されている。重い合意だ」と指摘した。立憲民主党や国民民主党などと結束し、対応していく考えを示した。

共産党は自衛隊は違憲との立場だ。笠井氏は「9条の理想に自衛隊の現状を変えていくのが我々の考え方だ」と説明した。「共産党が参加する政権ができて自衛隊解消の国民的合意がすぐできるわけではない。従来の合憲論を引き継ぐことになる」との認識を示した。

公明の北側氏 野党に憲法議論参加、改めて呼びかけ

毎日新聞 2019年8月22日 19時24分(最終更新 8月22日 19時24分)

公明党の北側一雄副代表は22日の記者会見で、秋の臨時国会での憲法議論について「(国会の)憲法審査会を開いたからといって一気に改憲の流れができるわけではない。かたくなに憲法審を動かさないのではなく、ぜひ参加してほしい」と述べ、先の通常国会で憲法審の開催に応じなかった立憲民主党など主要野党に改めて翻意を促した。

北側氏は、国民投票法改正を巡り立憲などがCM規制を先に議論するよう求めていることについては「しっかり議論すべきだ」と語った。ただ、「表現の自由や知る権利に関わるので結論を出すのは簡単ではない」とも述べ、CM規制と憲法改正の中身の議論を並行して進めるべきだとの認識を示した。【村尾哲】

公明・北側氏「憲法の中身も議論を」 秋の臨時国会で

日経新聞 2019/8/22 19:00

公明党の北側一雄憲法調査会長は22日の記者会見で、秋の臨時国会では憲法条文のあり方といった実質的な議論に着手すべきだとの考えを示した。自民党が憲法改正案の提示を目指しているのを踏まえたものだ。野党が求める国民投票時のCM規制は「そう簡単に結論は出ない」と述べた上で「その結論が出るまで憲法の中身を議論しないのは違う。並行して進めるべきだ」と語った。

「憲法審に積極参加を」 公明・北側氏が呼びかけ

産経新聞 2019. 8. 22 14:24

公明党の北側一雄中央幹事会会長は22日の記者会見で、秋の臨時国会で焦点となる憲法改正の議論について「(改正に)賛成であれ反対であれ、議論していくことが国会の役割だ。しっかりと憲法論議が前に進むようにしたい」と述べた。

衆参両院での統一会派結成で合意した立憲民主党と国民民主党に対し、「参院選も終わったわけだから、かたくなに憲法審査会を開かせないということではなく、ぜひ(議論に)積極的に参加してほしい」と呼びかけた。

立憲民主党の枝野幸男代表が議論を優先すべきだと主張する国民投票時のCM規制については「表現の自由、知る権利に関わるのでよく議論して調整させてほしい。そう簡単に結論が出るものではない」と語った。

その上で「CM規制の問題に結論が出るまでは中身の憲法論議を一切させないというのは、違う。並行してでも中身の議論を前に進めていくべきだ」と重ねて強調した。

立民・国民は憲法論議に積極的参加を 公明 北側氏

NHK2019年8月22日 13時53分



立憲民主党と国民民主党の代表が会派の合流で合意したことを受けて、公明党の北側憲法調査会長は、国会での憲法改正論議に積極的に参加するよう呼びかけました。

立憲民主党の枝野代表と国民民主党の玉木代表は、20日、党首会談を行い、衆・参両院で会派を合流することで合意しました。これを受けて、公明党の北側憲法調査会長は、記者会見で、憲法改正論議への影響を問われ、「分からないが、国民民主党はもとも議論しようということだったと思う。かたくなに『国会の憲法審査会を開かせない』ということではなく、積極的に参加してもらいたい」と呼びかけました。

また、北側氏は、野党側が求める、国民投票に伴うテレビ広告の規制について、「われわれも、しっかり議論を進めていくべきだと考えている。ただ、結論を出すのは簡単ではなく、結論が出るまで憲法論議を一切させないというのは違う。平行して進めていくべきではないか」と述べました。

【主張】両民主の統一会派 改憲論議しないつもりか

産経新聞 2019. 8. 22 05:00

立憲民主党の枝野幸男、国民民主党の玉木雄一郎両代表が会談し、衆参両院で会派を合流させることを決めた。

野田佳彦元首相ら無所属議員でつくる衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」も合流する。全員が合流すれば、衆院117人、参院60人の勢力となる。国会で足並みをそろえて動くことで、自民党、公明党の巨大与党に対抗していくねらいがある。

枝野氏は、「安倍政権とは違う、もう1つの選択肢を国会論戦で訴える」と述べた。玉木氏は、「政権交代につなげていきたい」と語った。

野党第一党と第二党が大同団結して政府・与党に対抗することはあってもよい。院内会派合流は政党の合体ではないため、全ての政策を一致させるものではない。

だがそうであっても、両党は憲法改正やエネルギー政策の基本政策で隔たりがあり過ぎる。

秋に召集予定の臨時国会の焦点は、衆参の憲法審査会が改正内容の具体的論議に入るかどうかだ。参院選では、憲法審査会での論議の進展を掲げた自民が勝利した。安倍晋三首相は13日、山口県長門市で父の墓参をした際、「憲法の議論をいよいよ国会で本格的に進めていくべき時を迎えていると報告した」と語った。公明は立民に憲法審査会での論議に加わるよう求めている。

玉木氏は参院選後、「私は生まれ変わった」と述べ、改憲論議に前向きになっていた。その姿勢と、憲法審査会での論議に消極的で、事実上の護憲政党といえる立民との会派合流は矛盾する結果を生まないか。国会の憲法改正論議を停滞させてはならない。

立民は「原発ゼロ」法案を国会提出している。電力系労組の支援を受ける国民には受け入れがたい法案といえる。

国の基本に関わる分野で目指す方向が違うようでは、政府・与党と異なる選択肢を国会論戦できちんと示すことは難しい。衆院選での選挙協力をにらむ単なる数合わせではないかとの批判に反論できるだろうか。

両党の源流は旧民主党、旧民進党だ。理念や政策がかけ離れた議員の寄り合い所帯だった旧民主党の政権は、国政をいたずらに混乱させて崩壊した。今度は野党会派として「決められない政治」を繰り返すことにもなりかねない。

北朝鮮は「核の小型化・弾頭化すでに実現」 防衛白書案

朝日新聞デジタル 2019年8月22日 19時26分

2019年版「防衛白書」の原案が判明し、北朝鮮の核兵器開発が「小型化・弾頭化をすでに実現しているとみられる」と初めて記載されることがわかった。徴用工問題をめぐり関係が悪化する韓国は、安全保障協力を進める国の紹介順で降格した。9月中旬の閣議で了承される見通し。

昨年版の白書では、北朝鮮の核開発に関して小型化・弾頭化が「実現している可能性がある」と評価していた。今年は「すでに実現」と記し、弾道ミサイルへの核搭載の危機感を示した形だ。

北朝鮮は7月25日以降、短距離弾道ミサイルを含む飛翔(ひ

しょう) 体を6回発射。白書でも「重大かつ差し迫った脅威」との認識を維持した。外務省が4月に公表した外交青書では、拉致問題の打開に向けた北朝鮮の前向きな対応を引き出す狙いで同様の表現を削っていた。

一方、安保協力を進める国・地域の紹介順で、18年は豪州の次だった韓国は、豪州、インド、東南アジア諸国連合(ASEAN)に次ぐ4番目に降格した。昨年12月の韓国海軍駆逐艦による海上自衛隊哨戒機への火器管制レーダー照射問題についても「再発防止を強く求める」と記した。

陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」の秋田、山口両県への配備計画で調査ミスが相次いだ問題では「極めて不適切な対応があったことを真摯(しんし)に反省」とした。防衛省関係者によると、イージス・アショアに関する記述が7月の参院選に影響する可能性を考慮し、白書の作成・公表時期を例年より1カ月以上、遅らせたという。

韓国は「降格」、北の核「既に弾頭化」…防衛白書原案

読売新聞 2019/08/21 08:47

政府の2019年版「防衛白書」の原案が20日、明らかになった。北朝鮮の核兵器開発について、「小型化・弾頭化を既に実現しているとみられる」との表現を初めて明記した。対立を深める韓国については、安全保障協力を進める国・地域の紹介順を前年より降格させた。

政府は、9月中旬の閣議で白書を了承する方向で調整している。北朝鮮の軍事動向については、「重大かつ差し迫った脅威」との認識を維持した。そのうえで、核兵器の小型化・弾頭化について、18年版では「実現に至っている可能性が考えられる」と分析していたが、技術の進展が予想されることを踏まえ、19年版では踏み込んだ表現とした。核兵器の小型化によって弾道ミサイルへの搭載が可能になることへの危機感を示したものだ。

日韓関係については、自衛艦旗を巡る韓国側の否定的な対応や、韓国海軍による自衛隊機への火器管制レーダー照射問題に言及し、「再発防止を強く求めている」などとした。

米国以外の各国・地域との安全保障協力について、18年版では豪州に次いで2番目に韓国との協力内容を紹介していたが、19年版では、豪、インド、東南アジア諸国連合(ASEAN)に続く4番目とした。

中国については、太平洋での海上・航空戦力による活動がいつそう拡大することが見込まれると分析し、「より協調的な形で積極的な役割を果たすことが強く期待される」と記述し、自制的な対応を促した。

■防衛白書原案のポイント

▽北朝鮮の軍事動向は重大かつ差し迫った脅威

▽北朝鮮は核兵器の小型化・弾頭化を既に実現しているとみられる

▽防衛協力の相手としての記載順で韓国を降格

▽中国軍の太平洋での海上・航空戦力による活動のさらなる拡大を予想

日本防衛白書、協力順位「韓国格下げ」…防衛費また史上最高と予想

ハンギョレ新聞登録:2019-08-21 21:59 修正:2019-08-22 07:03
読売「安保協力対象順位 4番目に記述」/来年防衛予算は5.3兆円要求で調整/日本産ステルス戦闘機開発費用も含む



日本がステルス機能をテスト

するために作ったX-2が、2016年に初の試験飛行をした時の姿＝日本防衛省//ハンギョレ新聞社

日本政府が今年も「防衛白書」草案で、韓国との安保協力の順位を以前より格下げしたという日本のマスコミの報道が出てきた。

読売新聞は21日、2019年版防衛白書草案に日本が唯一の軍事同盟国である米国以外の国家との安全保障協力に関し叙述する内容で、韓国の登場順位がオーストラリア、インド、東南アジア連合(ASEAN)に次ぐ4番目に記述されていると伝えた。2018年版防衛白書では、オーストラリアの次が韓国で2番目だった。これは最近悪化した韓日関係が反映されたものと見られる。

また、昨年12月に発生した韓国海軍艦艇の「射撃統制レーダー照射」論議と関連して「再発防止を強力に要求する」という内容が草案に含まれた。日本は昨年、韓国軍の艦艇が東海で自衛隊の哨戒機に向けて射撃統制レーダーを照準したと抗議したが、韓国軍はそうした事実はないと反論した。韓国軍は、その後日本の哨戒機が逆に海軍艦艇を相手に威嚇的な低空飛行をしたと反論した。

同紙は、日本が防衛白書で北朝鮮の核兵器開発に対して「小型化・弾頭化をすでに実現していると見られる」との表現を初めて明記したとも伝えた。昨年までは「実現に至っている可能性が考えられる」と記述していた。北朝鮮の脅威については「重大で切迫した脅威」という既存の表現を維持し、防衛白書は来月中旬に閣議で確定される予定だ。

来年の日本の防衛予算は、6年連続で史上最高額を更新するものと見られる。NHKはこの日、防衛省が2020年防衛予算で5兆3000億円を要求する大枠を決め細部の調整に入ったと伝えた。今年の日本の防衛予算は5兆2574億円だった。来年の防衛予算には、海上自衛隊が保有する最大の軍艦であるいずも級護衛航空母艦の改造費用、艦載機として使う予定のF35B導入費用、相手方の通信機能を無力化する電子戦装備費用、宇宙部隊関連費用などが含まれる予定だ。

航空自衛隊の次世代戦闘機開発費用は、金額を明示せずに一旦項目に入れることにしたという。今年末の政府予算案編成時に具体的な金額を明示する予定だが、総開発費用が1兆5000億円以上と予想されると読売新聞は伝えた。日本は現在90機を保有している戦闘機F2の退役が始まる時点の2030年代中盤に、次世代戦闘機として初めて日本産ステルス戦闘機を導入する予定だ。

日本政府は2030年代中盤にF35 147機、F15 100機、次世代戦闘機90機を航空戦力として備える構想だ。

東京/チョ・ギウォン特派員（お問い合わせ japan@hani.co.kr）

政府、20年度に「宇宙作戦隊」を新設 概算要求に計上

毎日新聞 2019年8月22日 19時13分(最終更新 8月22日 20時04分)



首相官邸=本社ヘリから

政府は2020年度、安全保障上の重要性が高まっている宇宙分野での能力向上に向け、自衛隊に「宇宙作戦隊」を新設する方針だ。他国の人工衛星からの電波妨害などで自衛隊の活動が影響を受けないよう宇宙空間を常時監視することなどが任務となる。防衛省が20年度予算の概算要求に関連経費を計上する。

米国や中国、ロシアなどは、人工衛星を使った情報収集や相手の通信かく乱など、宇宙空間の利用に向けた研究を進めている。日本政府も昨年12月に策定した「防衛計画の大綱」で、宇宙やサイバー空間を「新領域」として重視。「相手方の指揮統制・情報通信を妨げる能力」や「宇宙利用の優位を確保するための能力」を強化すると明記した。

新設する宇宙作戦隊は、航空自衛隊府中基地（東京都府中市）に約70人態勢で発足させる。将来的には100人を目指し、日本の人工衛星の脅威となり得る他国の人工衛星や宇宙空間を漂うスペースデブリ（宇宙ごみ）の動きなどを監視する。宇宙空間に設置する新型の光学望遠鏡を開発するほか、米軍が今年29日に発足させる「宇宙軍」から指導教官を招くなどして能力向上を図る。

また、新領域の柱の一つである「電子戦」の能力強化のため、陸上自衛隊健軍駐屯地（熊本市）には、電磁波で相手の活動を妨害する80人規模の「電子戦部隊」を設置する。電子戦を巡っては、14年のウクライナ危機で、ロシア軍が電子戦で全地球測位システム（GPS）の電波を妨害したり、砲弾の電子信管を誤作動させたりしてウクライナ軍の戦力を低下させたとされる。この分野に力を入れる中露などに対抗する。

妨害電波により相手のミサイル発射を妨げる「スタンドオフ電子戦機」の開発も目指し、関連費用を計上する。各国はミサイル技術を高度化させ、北朝鮮も飛行中に軌道が変化する新型ミサイルの開発を進めているとみられている。日本政府は電子戦を充実させることで、ミサイル攻撃を阻止する能力を強化したい考えだ。

【田辺佑介】

防衛省概算要求 過去最大の今年度当初予算超 宇宙作戦隊創設へ

NHK 8月22日 17時29分



防衛省の来年度予算案の概算要求は7年連続で増加してきた当初予算を上回っていて、宇宙空間での防衛能力を強化するため、不審な人工衛星の監視などを任務とする「宇宙作戦隊」を航空自衛隊に設けるための費用などが盛り込まれることになりました。防衛省は去年、策定された「防衛計画の大綱」に基づき、宇宙やサイバーといった領域の防衛能力を強化するとしていて、来年度予算案の概算要求は7年連続で増加し、過去最大となった今年度の当初予算を上回る5兆3000億円余りとする方針で、その内容が固まりました。

この中では衛星通信を通じて自衛隊の部隊がさまざまな情報を共有している実態などを踏まえ、不審な人工衛星や増え続ける宇宙ゴミなどを監視する「宇宙作戦隊」を航空自衛隊の府中基地に新設するための費用が盛り込まれています。

さらに自衛隊の部隊どうしをつなぐ通信ネットワークを守る必要があるとして、相手が妨害できる範囲よりも外側から、電波妨害を行える航空機や敵の航空機のレーダーを地上から無力化するための装備の開発を始めるとしています。



また、海上自衛隊最大の護衛艦「いずも」を事実上「空母化」するための改修や、搭載する最新鋭のステルス戦闘機、F35Bを購入するための費用のほか陸上自衛隊が導入する輸送機オスプレイを佐賀空港に配備するため、造成工事を行う費用も盛り込んでいます。

米軍機で先行訓練も＝空母化いずも＝岩屋防衛相

時事通信 2019年08月22日 15時41分

岩屋毅防衛相は22日の記者会見で、事実上の空母に改修する「いずも」型護衛艦で運用する米国製最新鋭戦闘機F35Bについて、機体の引き渡しを受けるまでの間、米軍の同型機による離着陸訓練などがあり得るとの認識を示した。岩屋氏は「知見を有する米側の協力や支援はいただかなければいけない。検査や試験のためにお手伝いをいただくことはある」と述べた。

「空母化」護衛艦 運用に向け米軍協力 防衛相が見通し

NHK 2019年8月22日 14時03分



政府が、事実上「空母化」する護衛艦の運用をめぐり、岩屋防衛大臣は、自衛隊が、護衛艦に戦闘機を搭載して運用したことがないことを踏まえ、運用に向けてアメリカの協力を得ることになるという見通しを示しました。

政府は、去年策定した「防衛計画の大綱」に基づき、海上自衛隊最大の護衛艦「いずも」を改修して、事実上「空母化」し、短距離で離陸し、垂直に着陸できるアメリカ製の最新鋭のステルス戦闘機、F35Bを搭載して運用する方針です。

これに関連して、岩屋防衛大臣は、閣議のあとの記者会見で、「わが国は、艦船でF35Bを運用したことが無い。知見を有するアメリカ側の協力や支援はいただかなければならず、例えば、検査や試験のためにお手伝いいただくことはあるのではないかと述べ、運用に向けた試験などで、アメリカの協力を得ることになるという見通しを示しました。

そのうえで、岩屋大臣は「アメリカとは、さまざまな共同訓練などを行っていくことになると思う」と述べ、将来的には、アメリカ軍の戦闘機を「いずも」で運用することなどを含めた共同訓練を行っていく考えを示しました。

しんぶん赤旗 2019年8月23日(金)

「いずも」空母化 米軍機で先行訓練も 岩屋防衛相が可能性認める

岩屋毅防衛相は22日の記者会見で、事実上の空母に改修する「いずも」型護衛艦で運用する米国製最新鋭ステルス戦闘機F35Bについて、機体の引き渡しを受けるまでの間、米軍の同型機による離着陸訓練などがあり得るとの認識を示し、「先行訓練」の可能性を認めました。

岩屋氏は、「知見を有する米側の協力や支援はいただかなければならない。検査や試験のためにお手伝いをいただくことはある」と述べました。

いずも型護衛艦の改修は「いずも」が2020年度、「かが」が22年度に予定。一方、F35Bについて防衛省は、20年度予算概算要求で購入費を盛り込む方針ですが、機体の引き渡しを受けるのは24年度以降になる見通しです。

米海兵隊トップのバーガー総司令官が空母に改修した「いずも」型から海兵隊のF35Bが発着できるようにするのが「最終目標だ」などと述べたことに関し、岩屋氏は、日米共同訓練で互いの艦載機を相互に甲板に載せる訓練をしているとして、「そういった訓練も米側との間で行えるようになるというようなことをおっしゃったのではないかと指摘しました。

イラン外相が月末にも来日＝米主導の有志連合めぐり協議

時事通信 2019年08月22日 15時05分

イランのザリフ外相が今月末にも来日し、安倍晋三首相や河野太郎外相と会談する方向で調整していることが分かった。日本政府関係者が22日、明らかにした。中東ホルムズ海峡などの安全保障に向けて米国が主導する有志連合構想について意見交換する見通し。

米国が参加を求めている有志連合に関し、日本はイランとの伝

統的な友好関係も踏まえて、対応を慎重に検討している。ザリフ氏は、日本に対し参加しないよう求めるとみられる。

米海軍、艦載機の離着艦訓練公開 原子力空母ロナルド・レーガン

2019/8/22 20:22 (JST)共同通信社



米海軍の原子力空母

ロナルド・レーガンの甲板に着艦する艦載機＝22日午後、日本南方沖

米海軍は22日、横須賀基地（神奈川県横須賀市）を5月に出港し、インド太平洋地域で警戒任務中の原子力空母ロナルド・レーガンで、艦載機が離着艦する訓練を報道陣に公開した。

同日午後、甲板に備え付けられた四つのカタパルト（射出機）から、FA18 戦闘攻撃機などの艦載機が轟音を響かせて次々と離艦。その後、ワイヤを使って急停止し、着艦した。艦載機の格納庫や、レーガンの操舵室も公開した。

ロナルド・レーガンは今回の長期航海中、事実上の空母への改修が決まっている海上自衛隊のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」と共同訓練を実施。中国の動向をけん制する狙いがあるとみられる。

米海軍、原子力空母で艦載機の離着艦訓練公開

産経新聞 2019. 8. 22 19:42

米海軍は22日、横須賀基地（神奈川県横須賀市）を5月に出港し、インド太平洋地域で警戒任務中の原子力空母ロナルド・レーガンで、艦載機が離着艦する訓練を報道陣に公開した。

同日午後、甲板に備え付けられた四つのカタパルト（射出機）から、FA18 戦闘攻撃機などの艦載機が轟音を響かせて次々と離艦。その後、ワイヤを使って急停止し、着艦した。艦載機の格納庫や、レーガンの操舵室も公開した。

ロナルド・レーガンは今回の長期航海中、事実上の空母への改修が決まっている海上自衛隊のヘリコプター搭載型護衛艦「いずも」と共同訓練を実施。南シナ海などでの中国の動向をけん制する狙いがあるとみられる。

訓練に先立ち、ロナルド・レーガンを軸とする第5空母打撃群司令官のカール・トーマス少将は「何があっても対応できるよう、常に同盟国と意思疎通を図ることが大事だ」と述べ、今後も海自などと連携を深める考えを示した。

横田オスプレイ 嘉手納飛来で抗議 三連協、日米に文書で

琉球新報 2019年8月22日 08:00

【中部】嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会（三連協、会長・當山宏嘉手納町長）は19日、米軍横田基地から17日にCV

22 オスプレイが飛来したことについて文書で抗議した。同機を嘉手納基地で運用しないよう求めた。

抗議文で、既に外来機の暫定配備などで騒音が増大していることなどを挙げて「安全性に不安のあるCV22 オスプレイの運用が常態化することで、周辺住民の基地負担が一層増大することが危惧される」と指摘した。

抗議文は米空軍嘉手納基地第18航空団、沖縄防衛局、外務省沖縄事務所、在沖米国総領事館に郵送した。

底見えるトラックの土砂、少量でも満載と同じ支払い額？ それとも適切？ 辺野古新基地

沖縄タイムス 2019年8月23日 07:39

名護市辺野古の新基地建設を巡り、名護市安和の棧橋と本部港塩川地区に業者が土砂をトラックで運び入れる際、荷台の底が見えるほど積載量が少量なケースが散見されている。



荷台の底が見えるほどの量の土砂を名護市安和の棧橋に搬入するダンプトラック＝7月16日（沖縄ドローンプロジェクト提供）

新基地に反対する市民によると、昨年12月から今年にかけて複数回、運搬する土砂が少量のトラックが確認された。沖縄平和市民連絡会の北上田毅氏は「土量のチェックがずさんで、少ししか積んでいなくても満載と同様に費用が支払われているのでは」と指摘する。

沖縄防衛局は沖縄タイムスに「土量は積み込んだ後に船上で確認している。業者は過積載に注意し、1台当たりの土量を適切に管理している」と説明した。

一方、北上田氏は「土量を、トラック1台ずつ確認しないのは不自然だ。業者が土を少しずつ運べば燃料や人件費が増え、損をするはず。整合性も取れない」と疑義を呈している。

米巡航ミサイル発射実験受け 国連安保理で緊急会合

NHK 8月23日 8時39分



k10012045261_201908230623_201908230627.mp4

国連の安全保障理事会では、日本時間の23日朝早く、アメリカがINF＝中距離核ミサイルの全廃条約が失効したあと、地上発射型の巡航ミサイルの発射実験を行ったことを受けて、緊急の会合が開かれました。

アメリカは、ロシアとの間で結んだINFの全廃条約が失効したことを受けて、今月18日、これまで条約で禁じられてきた地上

発射型の巡航ミサイルの発射実験を行いました。

これを受けて、国連の安全保障理事会では、日本時間の23日午前4時すぎから、ロシアと中国の要請に基づいて、緊急の会合が開かれました。

会合で、ロシアの代表はINFの全廃条約はアメリカが失効させたことと批判したうえで「アメリカは、制御できない軍拡競争の第一歩を踏み出した」と述べ、巡航ミサイルの発射実験を非難しました。

これに対し、アメリカの代表は「ロシアはすでにINFの全廃条約に違反して、地上発射型の巡航ミサイルを複数保有している」と反論しました。

そして「ロシアと中国が大量に配備している中距離ミサイルの脅威に対処するため、必要な措置を講じる」と述べて、中距離ミサイルを本格的に開発する方針を示しました。

アメリカの地上発射型の巡航ミサイルの発射実験を受けて、アメリカとロシア、それに中国との間で、軍拡競争が激しさを増すことが懸念されます。

国連 中満事務次長 アメリカとロシアに警鐘

国連で軍縮問題を担当する中満事務次長は国連の安全保障理事会の中で「ミサイルの開発は、国際社会を不安定にさせるだけでなく、深刻な被害を出す。INFの全廃条約が失効したからといって、制約なくミサイルを開発したり増やしたりするべきではない」と述べ、アメリカとロシアに対して警鐘を鳴らしました。そして「現在、多くの国が弾道ミサイルを保有し、さらなる開発を進めている」と述べたうえで「武器の拡散を防ぐことは、極めて重要な課題だ。一刻も早い国際的な取り組みが求められている」と述べ、各国に協力を呼びかけました。

アメリカの思惑と配備候補地は

アメリカが今月2日に条約が失効してからわずか2週間余りで発射実験を行うことができた背景には、アメリカはロシアが条約を順守していないとして、これに対抗するため、すでに2年前の2017年から条約に違反しない範囲で中距離ミサイルの研究・開発を行ってことが挙げられます。

さらに今回のミサイルは、アメリカ海軍がすでに採用している巡航ミサイルを地上発射型に改良したもので、発射装置も艦艇に使用されてきたものでした。

このため、技術的には難しくなく、すぐに発射実験を実行できたとみられています。

今回の実験で使用されたミサイルは、技術的には1年半ほどで実戦配備が可能とも伝えられています。

アメリカ国防総省は、在日アメリカ軍の基地を含むアジアにあるアメリカ軍の施設を射程に収める中国のミサイルの脅威に対抗するため、関係国と協議のうえ、日本を含めたアジア太平洋地域に中距離ミサイルを配備したいとしています。

これについてアメリカの専門家からは日本列島から台湾、フィリピンに延びる「第1列島線」に配備される可能性が指摘されています。

また、国防総省に近いシンクタンクも最近発表した対中戦略の報告書で沖縄や九州をフィリピンのミンダナオ島などと並んで、候

補地に挙げています。

アメリカは、アジアに配備するのはあくまでも通常弾頭を搭載する中距離ミサイルで、核弾頭は搭載しないと強調しています。

しかし、アメリカがアジアでミサイルの戦力を増強すれば、ロシアや中国がこれに対抗する形で開発の強化に踏み切ることが避けられず、アメリカ軍基地を抱える日本が今後、大国間の軍拡競争の渦中に置かれることも懸念されています。

米巡航ミサイル発射実験受け 国連安保理で緊急会合

翁長氏一周忌「辺野古解決へ」 「しのぶ会」に900人出席

2019/8/22 20:22 (JST) 共同通信社



翁長雄志前沖縄県知事の一周年に合わせ開かれた「しのぶ会」で、あいさつする玉城デニー知事＝22日午後、沖縄県豊見城市

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対し、在職中の昨年8月8日に死去した翁長雄志前知事＝享年（67）＝の一周年に合わせ「しのぶ会」が22日、同県豊見城市で開かれ、約900人が出席した。

辺野古移設反対を掲げ、翁長氏の後継となった玉城デニー知事は「思いを受け継ぎ、辺野古新基地建設問題など沖縄が抱える課題解決に向け、全身全霊で取り組む」とあいさつ。「過重な基地負担の現状を国内外に知らしめ、国と対峙しながらも沖縄の民意を強く訴え、多くの県民の共感を得た」とも語った。

しのぶ会は地元建設大手「金秀グループ」の呉屋守将会長が実行委員長を務めた。

翁長・前沖縄知事の「思い受け継ぐ」 死去1年、偲ぶ会

朝日新聞デジタル伊藤和行 2019年8月22日20時41分



前沖縄県知事の翁長雄志さんをしの

び、多くの県民が献花に訪れた＝2019年8月22日午後5時57分、沖縄県豊見城市の沖縄空手会館、伊藤和行撮影

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設に反対し、昨年8月8日に急逝した前沖縄県知事の翁長雄志（おながたけし）さん（享年67）を偲（しの）ぶ会が22日、同県豊見城（とみぐすく）市の沖縄空手会館であった。数百人が集い、思い出を語り合った。

8日の一周忌にあたり、多くの県民から追悼の声が高まり、生前に付き合いのあった人たちが実行委員会を作り、企画した。後継者として県政を引き継いだ玉城デニー知事は「思いを受け継ぎ、辺野古新基地問題や過重な基地負担軽減を含め、解決に向けて全身全霊で取り組むこととお誓いします」とあいさつした。

翁長さんが好んだ石原裕次郎の歌が流れる中、参列者は献花して手を合わせた。妻の樹子（みきこ）さんは「知事になった4年間、翁長は喜びのかけらもありませんでした。怒りよりも悲しみが大きかった」と振り返り、涙を流した。

翁長さんは那覇市議、県議、那覇市長を経て2014年に知事に就任。任期途中の昨年8月8日、膵（すい）がんで亡くなった。（伊藤和行）

「天国から沖縄見守って」…翁長前知事しのぶ会 豊見城で

毎日新聞 2019年8月22日 21時08分（最終更新 8月22日 22時17分）



「翁長さんの思いを継ぎ、沖縄の

課題解決に取り組む」とあいさつする玉城デニー知事＝沖縄県豊見城市で2019年8月22日午後5時17分、遠藤孝康撮影

在職中の昨年8月、膵（すい）がんで67歳で死去した沖縄県の翁長（おなが）雄志前知事をしのぶ会が22日、豊見城（とみぐすく）市であった。約900人が参列し、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設計画反対を貫き、沖縄が抱える米軍基地負担の問題を全国に訴えた翁長さんの功績をしのんだ。

8日に一周忌を迎え、親交のあった関係者らで作る実行委員会が開いた。後継となった玉城（たまき）デニー知事は「翁長さんの思いを受け継ぎ、辺野古新基地建設問題や子どもの貧困対策などに全身全霊で取り組む。天国から沖縄を見守っていただきたい」とあいさつした。

翁長さんの妻樹子(みきこ)さんは「知事になってから心からの笑顔は見たことがなかった。『沖縄県民がこれだけ望んでいるのにどうして通じないのか』という悲しみにあふれていた。翁長をしのび、多くの方に集まっていたいただいたことを仏前に報告したい」とお礼を述べた。【遠藤孝康】

「辺野古解決へ全身全霊」 翁長氏一周忌で沖縄知事

日経新聞 2019/8/22 20:00 (2019/8/22 20:13 更新)

米軍普天間基地(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古移設に反対し、在職中の昨年8月8日に67歳で死去した翁長雄志前知事の一周忌に合わせ「しのぶ会」が22日、同県豊見城市で開かれ、約900人が出席した。



翁長前沖縄県知事の一周忌に合わせ開かれた「しのぶ会」であいさつする玉城デニー知事(22日、沖縄県豊見城市) =共同

辺野古移設反対を掲げ、翁長氏の後継となった玉城デニー知事は「思いを受け継ぎ、辺野古新基地建設問題など沖縄が抱える課題解決に向け、全身全霊で取り組む」とあいさつした。「過重な基地負担の現状を国内外に知らせ、国と対峙しながらも沖縄の民意を強く訴え、多くの県民の共感を得た」とも語った。

玉城氏とともに翁長氏から後継に指名された地元小売り・建設大手「金秀グループ」の呉屋守将会長は「過大な犠牲を強いられ続けている沖縄から日本が世界に誇る道しるべを示していただいた」と惜しんだ。

妻、樹子さんは、2014年に就任してからはほとんど笑顔がなくなったと紹介し「仏前に『皆さんが本当に心からしのでくださった』と報告したい」と涙ぐんだ。

しのぶ会は呉屋氏が実行委員長を務め、翁長氏にゆかりのある政財界関係者らが開催した。会場には知事時代のスーツ姿の遺影が飾られ、参加者は黙とうしてその死を惜しんだ。【共同】

しんぶん赤旗 2019年8月23日(金)

新基地反対 遺志継ぐ 沖縄 翁長前知事しのぶ会

翁長雄志さんを偲ぶ会



(写真) 翁長前知事の遺志

を継ぎ、辺野古新基地問題などの解決に取り組む強い決意を改めて述べる玉城デニー知事(奥左) =22日、沖縄県豊見城市

改革などの違いを乗り越えた団結を訴え、沖縄県名護市辺野古

の米軍新基地建設反対を最後まで貫き、在任中の昨年8月8日に亡くなった「オール沖縄」の翁長雄志前県知事を「しのぶ会」が22日、同県豊見城(とみぐすく)市の沖縄空手会館で開かれました。県内外から約900人が会場を訪れて献花し、翁長氏の遺志を引き継いでいく決意を改めて固めました。

しのぶ会実行委員長の呉屋守将・金秀グループ会長は「翁長さんが打ち出した方向性を、われわれ沖縄県民が実行することで、悲願の誇りある豊かな沖縄を実現することができる。今一度、改革を超えて一丸となろう」とあいさつしました。

黙とうの後、翁長氏の後継の玉城デニー知事は、翁長氏は沖縄県の発展のために生涯をささげたと強調。「沖縄の過重な基地負担の現状を国内外に伝え、辺野古に新基地を造らせないという沖縄の民意を強く訴えた」と紹介し、県経済でも多くの成果を上げ、子どもの貧困問題にも心血を注いだと語りました。

デニー知事は、翁長氏の奮闘した姿は「今もなお、私たちの胸の奥に強く刻まれている」と訴え、「翁長さんの思いを受け継ぎ、辺野古新基地建設問題や基地負担の軽減、子どもの貧困対策など、課題の解決に向けて全身全霊で取り組んでいくことを誓う」と力を込めました。

遺族を代表して、妻の樹子(みきこ)さんは「こんなに集まっていたいただいたみなさん一人ひとりに、本当に心から御礼を申し上げます」と述べました。

浦崎唯昭・前副知事、城間幹子那覇市長などが翁長氏との思い出を語りました。日本共産党からは小池晃書記局長、赤嶺政賢衆院議員、仁比聡平前参院議員らが参列しました。

しんぶん赤旗 2019年8月23日(金)

翁長前知事への思い 最後まで県民に寄り添った 沖縄・豊見城



(写真) 翁長前知事をしのぶ会

に参列する人たち=22日、沖縄県豊見城市

22日に沖縄県豊見城(とみぐすく)市で開かれた、前沖縄県知事・翁長雄志さんをしのぶ会には、900人が参加し献花には長蛇の列ができ、辺野古新基地建設ノーを貫いた翁長さんの不屈の遺志を継ぐ決意を誓い合いました。

副知事として翁長さんを支えた浦崎唯昭さんはあいさつで「最後まで県民に寄り添い、まさに沖縄に殉職したと言える」と翁長さんをたたえました。

「翁長県政の真骨頂は『平和』『県民の心を一つに』『わが身を捨てて』の三つ。腹八分で県民をまとめ、自分のことより、県民のために生きる死生観を体現した」と語り、会場の涙を誘いました。

参列した人たちは取材に、それぞれ思いを語りました。

宜野湾市の仲宗根ヤス子さん(69)は「毎日、普天間基地の爆音に苦しんでいる。でも辺野古に移しても、沖縄はずっと基地の島になるだけ。玉城デニー知事を支え、何としても新基地を止める。それが翁長さんの遺志を継ぐことになる」と話しました。

しのぶ会の実行委員で「オール沖縄会議」共同代表の親川盛一さんは「僕も県議時代は自民党。しかし基地問題では、党派を超えて沖縄をまとめ方向性を示すのが本来の保守のあり方だ。翁長さんが望んだ平和で豊かな県づくりにまい進したい」と決意を述べました。

南城市の瑞慶覧長敏市長は「沖縄は常に崖っぷちだが、必ずわれわれが勝利する」と語り、豊見城市の山川仁市長も「沖縄の平和のために老若男女、力合わせていく決意を新たにしたい」と語りました。

翁長前知事の思いを受け継ぐ 豊見城市で「偲ぶ会」

琉球新報 2019年8月22日 18:51



大勢の参列者が訪れた「翁長雄志

さんを偲ぶ会」=22日午後5時55分、豊見城市の沖縄空手会館道場(喜瀬守昭撮影)

昨年8月の在職中に急逝した翁長雄志前知事の一周忌に合わせて「翁長雄志さんを偲ぶ会」(同実行委員会主催)が22日午後、豊見城市の沖縄空手会館で催された。那覇市議や県議、那覇市長を歴任し、県知事として県政の発展に尽力した翁長氏の功績をたたえた。列席者らは黙とうをささげ、冥福を祈った。

翁長県政を経済界の立場から支えた呉屋守将実行委員長は「『イデオロギーよりアイデンティティ』のスローガンの下、県民の団結を訴えた政治家だった」とあいさつした。玉城デニー知事は「翁長さんの思いを受け継ぎ、全身全霊で県政に取り組むことを誓う」と翁長氏の遺影の前で誓った。

式典には翁長氏の妻・樹子さんも登壇し「多くの方が集まったことを仏壇に報告したい。本当にありがとうございました」と目に涙を浮かべながら謝意を述べた。【琉球新報電子版】

妻が明かす 翁長雄志前知事がプロポーズの言葉に込めた政治家としての覚悟

琉球新報 2019年8月23日 10:05



参列者らにお礼の言葉を述べる翁長樹子さん=

22日、豊見城市の沖縄空手会館

翁長雄志さんをしのぶ会でお礼の言葉を述べた妻の樹子さん(63)は、参列者に感謝するとともに政治家として生きた翁長さんの素顔を紹介した。知事として名護市辺野古の新基地建設問題という重大な政治課題に立ち向かった翁長さん。共鳴した多くの県民が参列したことに「仏前に『皆さんが本当に心からしのごうくださった』と報告したい」と涙ぐんだ。

樹子さんは翁長さんからのプロポーズが「政治家になりたい。選挙で選ばれず、何回も挑戦するかもしれない。僕に無理なら若い子を育てる。一生政治から離れられないかもしれない」と覚悟を迫る言葉だったと説明。それにも二つ返事で応えた。市議、県議と政治家の歩みを進めたが、帰りは遅く明け方になることも多かった。それが念願だった那覇市長に就任するとまっすぐ家に帰るようになり「とても困った。年に何回かしか作らなかった彼の夕飯を毎日作るようになった」と振り返った。

知事選出馬以降の話題に入ると樹子さんは声を落とした。知事になった翁長さんは新基地建設を阻止しようと、政府に何度も直訴したがなしのつぶて。「それまでの政治家人生は全身全霊喜びにあふれていた。知事の頃はほとんど心から笑っているのを見たことがない気がする」と吐露した。

樹子さんは言葉を詰まらせながら、翁長さんが「政治家は使い捨て」と悲しい言葉を口にしながら、後進に期待していたことを説明。その上で、遺志を継ごうと集まった多くの県民に感謝した。

「魂の政治家」に絶えぬ献花、900人参列 翁長前知事しのぶ会

琉球新報 2019年8月23日 07:30



献花し、翁長雄志さんの冥福

を祈る参列者ら=22日、豊見城市の沖縄空手会館

8月8日の一周忌を迎えたのに合わせて開かれた翁長雄志前知事をしのぶ会には、約900人の県民が集まった。辺野古新基地建設阻止、経済発展、しまくとぅばや空手振興など、沖縄のために身を粉にした“魂の政治家”を失った悲しみに改めて涙した。

会場は保守、革新を問わず親交のあった政治家のほか経済界関係者、同級生、一般県民らでいっぱい。準備された300脚の座席はすぐに埋まり、献花を待つ人々が列をつくった。

日々辺野古に通うという具志堅美恵子さん(53)=沖縄市=は「自分たちのために命を縮めたのではないかと今も思う」と涙を拭いた。

式典会場には翁長さんの帽子などが展示され、懇談会会場には家族や友人らと一緒にリラックスした表情の翁長さんを撮影した写真が飾られた。那覇高同級生の新里叡さん(69)=那覇市=は「昨年5月の手術後間もない頃、娘の結婚式に手書きの便せん

でメッセージをくれた。私と『兄弟のように過ごした』と書いていた」と誇らしげに語った。

「沖繩に寄り添い殉職」 翁長前知事を偲ぶ会 死去から1年、功績語る

沖繩タイムス 2019年8月22日 18:20

在任中の昨年8月8日に膵臓(すいぞう)がんで亡くなった沖繩県の翁長雄志前知事(享年67)を「偲ぶ会」が22日、豊見城市の沖繩空手会館で開かれた。友人、知人ら約千人が「県民の心をついに」「イデオロギーよりアイデンティティー」と訴え、沖繩の振興、発展に尽力し、沖繩に基地の集中する理不尽さに異を唱えた翁長氏の功績を振り返った。



大勢の県民が集まった

翁長雄志さんを偲ぶ会(22日、豊見城市の沖繩空手会館)

実行委員長の呉屋守将金秀グループ会長は「かけがえのない大政治家で、どこかに劣等意識を持っていた県民の考えに対し、潮目の変化と夜明けを印象付けた。保革を超え、県民一丸となり、万国津梁の夢を再現することを心から願っているはずだ」とたたえた。

玉城デニー知事は「翁長さんは経済、幸せ、平和の三つの視点から沖繩の未来を切り開くためのさまざまに取り組んだ。沖繩の過重な基地負担の現状を広く国内外に知らせ、辺野古に新基地を造らせないという民意を強く訴えた。入域観光客数の増加、雇用情勢の改善など経済面でも多くの成果を上げた。子どもの未来県民会議を設立するなど子どもの貧困問題解決にも心血を注いだ」と振り返った。

また「誇りある豊かな沖繩、沖繩の発展のために奮闘した姿は誠実で温かい人柄とともに私たちの胸の奥に刻まれている。今後とも翁長さんの思いを受け継ぎ、辺野古新基地建設問題の解決や過重な基地負担の軽減、子どもの貧困対策などの課題解決に全身全霊で取り組むことを誓う。これからも天国から安らかに沖繩を見守っていただきたい」と語った。

市議、県議として同じ道を歩み、副知事として支えた浦崎唯昭さんは「翁長さんと長く濃密な関係があり、場面場面での出来事が走馬灯のようによみがえっている。日本の将来や沖繩の処し方と現実を忌憚(きたん)なく語り合った。何事にも変えられない懐かしい思い出。いまだ喪失感で心にぽっかりと穴があいたままである」と述べた。

さらに「最後まで県民に寄り添ったことはまさに沖繩に殉職したと言える。翁長政治の真骨頂は平和、県民の心一つに、わが身を捨ててこそその三つである。思い出は尽きないが、重い荷物をおろしてゆっくりしてほしいと声を掛けた。副知事の退職辞令交

付式での知事の涙が忘れられない。いずれあの夜で少年のような笑顔の翁長さんに会えることを楽しみにしている」と語った。

那覇高校の同期生で、後継となった城間幹子那覇市長は「思い出はたくさんある。歌が上手、特に『嵐を呼ぶ男』は台詞も上手だった。栄町の市場で裕次郎の声で那覇市歌を歌った。高校時代からの沖繩に対する思いがぶれることはなかった。同期生で討論しても『ちゃーすがうちなー』と語り合った。千の風になって沖繩の空に、日本の空に、世界中に吹き上がってほしい。玉城知事の上にも翁長さんが千の風になって吹き注ぎ見守ってくれるように」と話した。

妻の樹子さんは「彼には政治しかなかった。プロポーズの言葉も、どういう道をたどっても『政治家になりたい』だった。市議時代は青春そのもので午前2時、3時に帰ってきたが、市長時代は『外で時間を過ごす体が持たない』とまじめに帰ってくるようになった。毎日夕飯を作ることになって、大変だった。それまでは目標を達成し、喜びにあふれていた」と回顧。

続けて「でも、知事時代はそのかけらもなかった。あんなによく笑う人が4年間本当に笑わなかった。本人は怒りより、沖繩の人の思いがどうして伝わらないのか、という悲しみが大きかった。悲しみにあふれていた。晩年の翁長は言っていた。どんなに頑張っても政治家は使い捨てだからな、と。あんなに頑張っている彼が政治家は使い捨てという言葉を使い、女房として悲しくてつらかった。亡くなってから1年、いろんなことがある中で、皆さんが翁長を偲ぶためにたくさん集まってくれたことを仏前に報告したい」と話した。

臨時国会召集、10月4日で調整＝改憲論議の行方焦点－政府・与党

時事通信 2019年08月22日 18時45分

秋の臨時国会について、政府・与党が10月4日の召集を調整していることが22日分かった。会期は12月上旬までとする方針。7月の参院選後、与野党による初の本格論戦の舞台で、安倍晋三首相が参院選で訴えた憲法改正論議の行方が焦点となる。

首相は9月半ばに内閣改造・自民党役員人事を行った後、同下旬に米ニューヨークでの国連総会に出席する。一方、天皇陛下が即位を内外に示す10月22日の「即位礼正殿の儀」の前後は審議を控える方向のため、政府・与党は首相が米国から帰国した後、速やかに召集したい考えだ。

安倍首相在職、戦後最長に＝佐藤栄作に並ぶ2798日

時事通信 2019年08月23日 00時25分



繰り上げ閣議に臨む安倍晋三首相(22日午前、

首相官邸

安倍晋三首相は23日、第1次政権を含む通算在職日数が2798日となった。大叔父の佐藤栄作と並ぶ戦後最長。政権を維持し続けた場合、11月20日に歴代1位の桂太郎(2886日)を超える。宿願である憲法改正や北朝鮮による拉致問題などに全力で取り組む考えだ。

第1次安倍政権は短命に終わったが、2012年12月に振り返りから、国政選挙は6連勝中で「安倍1強」体制を築いた。

首相は21年9月に自民党総裁3期目の任期を迎えるため、総裁連続4選や「ポスト安倍」をめぐる対応が今後の焦点だ。

菅義偉官房長官は22日の記者会見で、首相の長期在職について「首相のリーダーシップの下、経済再生、外交・安全保障の再構築、全世代型社会保障の実現に向け、一つ一つ課題に取り組んできた結果だ」と指摘。「今後も国民の声に真摯(しんし)に耳を傾けながら、緊張感を持って取り組んでいきたい」と強調した。

安倍首相、戦後最長政権に 佐藤栄作に並ぶ2798日

2019/8/22 15:49 (JST)8/22 15:52 (JST)updated 共同通信社



左から安倍晋三首相、佐藤栄作、

桂太郎

安倍晋三首相は第1次政権からの通算在職日数が23日で2798日となり、戦後最長の佐藤栄作と並ぶ。今年11月19日には戦前の桂太郎の2886日に到達し、歴代1位となる見込みだ。北方領土問題を含むロシアとの平和条約締結や、北朝鮮による日本人拉致問題など残された課題の解決に全力を挙げる。

菅義偉官房長官は22日の記者会見で「経済の再生、外交・安全保障の再構築、全世代型社会保障の実現に向けて取り組んだ結果、あつという間に(第2次政権発足から)6年8カ月がたったというのが正直な気持ちだ」と強調。「今後も国民の声に謙虚に耳を傾け、緊張感を持っていきたい」と述べた。

安倍首相、戦後最長の在任へ 23日、佐藤栄作と並ぶ

朝日新聞デジタル松山尚幹 2019年8月22日18時29分



首相官邸に入る安倍晋三首相=2019年8

月22日午前9時3分、岩下毅撮影

安倍晋三首相の通算在任日数が23日で計2798日となり、憲政史上2位で戦後最長の佐藤栄作と並んだ。11月20日まで政権を維持すると、計2886日の歴代最長の桂太郎も超える。

安倍首相は2006年に首相に就任。第1次政権は1年で終わ

ったが、12年の総裁選に勝利、同年末に政権に復帰した。15年総裁選は無投票で再選、18年は石破茂氏を破って3選。6年8カ月にわたり政権を維持している。自民党総裁としての任期は21年9月末までで、2年余を残す。7月の参院選後は、残り任期で憲法改正議論を加速させることに意欲を示している。

菅義偉官房長官は22日、「一つ一つ課題に取り組んできた結果、あつという間に6年8カ月たったというのが正直な気持ちだ。今後も国民の声に謙虚に耳を傾け、緊張感を持って取り組んでいきたい」と語った。

党内には、党則が禁じている総裁4選論もあるが、首相自身は「全く考えていない」と否定。3月の朝日新聞の世論調査では首相の総裁4選への任期延長には56%が「反対」し、27%の「賛成」を上回った。(松山尚幹)

「岸田さん、もう一苦勞を」古賀誠氏、ポスト安倍巡りBS番組で

毎日新聞2019年8月21日19時47分(最終更新 8月21日21時41分)



古賀誠氏=福岡市博多区で2019年8月2日、徳

野仁子撮影

自民党岸田派名誉会長の古賀誠元幹事長は20日夜のBSフジの番組で、「ポスト安倍」候補の一人である岸田文雄政調会長について「ポスト安倍であることは間違いないが、修羅場や政治センスという意味ではあと一苦勞、ふた苦勞してもいいんじゃないか。余力のある年齢だ」と述べ、必ずしも次期首相にこだわる必要はないとの認識を示した。

古賀氏は、「禅譲」に期待して安倍晋三首相と良好な関係を保つ岸田氏について「いくら安倍さんが禅譲して(次期首相は)岸田さんだと言っても、『ツクシの坊や』でポキッと折れたら何もない」とも述べた。岸田氏を突き放したともとれる発言で、波紋を広げそうだ。岸田派などの派閥会合のあり方に関して「例会の議論が死んでいる。型通りの日程報告だけでなく意見を戦わせて、会長は言うべきことは言うべきだ」と苦言を呈した。

一方、菅義偉官房長官については「庶民に生まれてはい上がってきた人で私と同じ土のにおいがする。政権を担ってもらいたい」と持ち上げた。【飼手勇介】

日米交渉2日目 茂木氏「山頂がどう見えるか、頑張る」

日経新聞2019/8/23 2:45 記事保存

【ワシントン=辻隆史】日米両政府は22日午後(日本時間23日未明)、米ワシントンで貿易交渉の2日目の閣僚級協議を開いた。最短で9月末に交渉を決着させるシナリオを念頭に、茂木敏充経済財政・再生相と米通商代表部(USTR)のライトハイザー代表

が自動車や農産品など重要品目の関税の扱いをめぐる詰め議論を続ける。



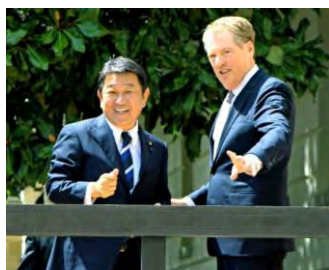
2日目の日米貿易協議の前に

記者団の質問に応じる茂木敏充経済財政・再生相（22日、ワシントン）

茂木氏は協議に先立ち、宿泊先のホテルで記者団に「いい天気だ。山頂がどう見えるか、頑張ってみる」と述べ、協議の進展に意欲を示した。茂木氏は8月1～2日に開いた前回協議後の記者会見で「頂上は見えている」と語り、交渉が大きく前進したことを示唆していた。

日米貿易交渉、茂木氏「課題相当絞った」 閣僚協議初日

日経新聞 2019/8/22 10:08 記事保存



貿易交渉に臨む茂木経財相（左）

とライトハイザー米通商代表（21日、ワシントン）=共同

【ワシントン=飛田臨太郎】日米両政府は21日（日本時間22日未明）、ワシントンで閣僚級による貿易交渉を開始した。茂木敏充経済財政・再生相は初日の協議後に記者会見し「閣僚間で詰めるべき課題は相当絞られてきている」と述べた。最短で9月末に交渉を決着させるシナリオを念頭に、牛肉や自動車の関税下げで詰めの交渉をした。

茂木氏とライトハイザー米通商代表部（USTR）代表がUSTR本部で協議した。閣僚協議は4月に初会合を開いて以降、今回で7回目だ。21日の協議は5時間を超えた。終盤では両閣僚が2人きりで30分程度話し合った。22日も続ける。

茂木氏は記者会見で「互いに国益をかけた交渉で非常に厳しいが、その中でも互いに信頼感を持ちながら議論を深めることができた」と語った。「だんだん大詰めを迎えつつある」との認識を示した。

日米には牛肉や自動車などに隔りがあり「埋めなければならない溝が残っている」とも語った。成果を示す時期については「今日はあまり話していない」と述べるにとどめた。

フランス・ビアリッツで主要7カ国首脳会議（G7サミット）が24日に開幕する。安倍晋三首相とトランプ米大統領との日米首脳会談も想定される。両閣僚の協議は首脳会談に先立ち、貿易面の課題を擦り合わせる面もある。

日米貿易交渉、閣僚協議が開始 茂木経財相「大詰め」

日経新聞 2019/8/22 3:30

フォーラムの終わり



貿易交渉に臨む茂木経済生相（左）とライトハイザー米通商代表（21日、ワシントン）=共同

【ワシントン=飛田臨太郎】日米両政府は21日（日本時間22日未明）、閣僚級による貿易交渉を米ワシントンで始めた。茂木敏充経済財政・再生相とライトハイザー米通商代表部（USTR）代表がUSTR本部で協議する。

茂木氏は協議前に記者団に「いよいよ大詰めになってきた。頂上は見えてきており、どうアタックしていくかを議論する」と語った。

茂木氏とライトハイザー氏はこれまでの協議で、早期合意に向けて協力することで一致している。21日からの協議で、牛肉や自動車など両国の立場に隔りのある分野で妥協点を探る。

しんぶん赤旗 2019年8月23日（金）

たっそ候補4選を 岩手知事選告示 国政4野党訴え



（写真）第一声を上げる、たっそ候補=22日、

盛岡市

参院選に続いて市民と野党の共闘でたたかわれる、岩手県知事選が22日告示（9月8日投票）されました。日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社民党が推薦する、たっそ拓也候補（55）=無所属、現=が、4選をめざして力強く第一声を上げました。

自公が推薦し、いわて県民クラブが支援する及川敦候補（52）=同、新=との一騎打ち。東日本大震災津波からの復興や暮らしを守る施策を進めてきた達増県政を継続・発展させるのか、国の悪政持ち込みを許して県民に冷たい県政にするのが最大の争点です。

たっそ候補は、「危機を希望に」と復興に取り組んできた経験を踏まえ「幸福を守り育てる希望郷いわて」へ県政を発展させると強調。被災者の医療費・介護保険利用料等の免除を来年も継続し、子どもの医療費窓口無料化を中学生まで拡充すると訴えました。

4野党代表がそろって決意を表明。共産党の菅原則勝県委員長は「被災者の医療費免除継続、中学生までの医療費窓口無料化、国保税軽減など四つの柱・14項目の政策協定を結んだ。『県政与党』として、61人の党地方議員と一緒に必勝をめざす」と述

べました。

斉藤信、高田一郎、千田みつ子の党県議も紹介されました。

これに先立つ出陣式では共産党の志位和夫委員長、国民民主党の小沢一郎衆院議員らの必勝メッセージが披露されました。

野田前首相ら、合流協議に参加＝社民、立憲との参院会派継続 時事通信 2019年08月22日 17時12分



衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」

の総会に出席する野田佳彦前首相（中央）ら＝22日午後、国会内

野田佳彦前首相が代表を務める衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」は22日の総会で、立憲民主、国民民主両党が統一会派結成に向けて設置する協議会に参加する方針を決めた。野田氏が23日に立憲の枝野幸男代表に直接伝える。

野田氏は総会后、記者団に「基本的に（所属議員）8人全員でまとまっていくが、最終的に会派に入るかどうかは全容が見えたときに判断する人もいるだろう」と述べた。

立憲と立場が異なる消費税増税に関して、野田氏は「社会保障を立て直す議論をこれからも主導していきたいし、財政的裏付けとして消費税は必要だ」と強調した。

野田前首相ら無所属8人、立民・国民会派に合流へ 読売新聞 2019/08/22

無所属議員8人でつくる衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」（代表・野田佳彦前首相）は22日の総会で、立憲民主、国民民主両党が衆参両院で組む統一会派に合流する方針を決めた。野田氏が23日に立民の枝野代表と会談し、両党が設ける「会派運営協議会」に参加する方針を伝える。

野田氏は総会后、記者団に「強引な国会運営を許してきたのは、（野党の）多弱という問題があった。強力な野党第1会派を作りたい」と述べた。会派内には合流に慎重な意見があり、野田氏は「基本的に8人でまとまるが、最終的に会派に入るかは、全容が見えた時に判断する人もいるだろう」とも語った。

一方、立民から会派合流を打診されている社民党は22日、参院のみ新会派に参加し、衆院は見送る方針を確認した。

新会派の構図が固まったことで、今後は会派運営の仕組みが焦点となる。法案の賛否などの意思決定手続きや会派の人事などは、会派運営協議会に委ねられる。立民会派の岡田克也・元民進党代表は21日のブログで「民主党・民進党時代は、1党でも様々な困難があった。今回は複数の党派からなる会派で、より難しさがある」と述べた。

立憲・国民の統一会派、衆院・社保、参院・社民も参加へ

毎日新聞 2019年8月22日 19時51分(最終更新 8月22日 19時56分)



統一会派結成についての党首会談と記者会見を終えて握手する立憲民主党の枝野幸男代表（中央右）と国民民主党の玉木雄一郎代表（同左）＝国会内で2019年8月20日午後1時3分、川田雅浩撮影

衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」（社保）は22日、国会内で会派総会を開いた。立憲民主、国民民主両党が結成する予定の統一会派への参加に向けて、両党と具体的な調整を進める方針を決めた。

これを受け、社保の野田佳彦代表は23日、国会内で立憲の枝野幸男代表と会談し、会派運営のあり方などを協議する。野田氏は記者団に「（与党の）強引な国会運営を許してきたのは（野党の）多弱という問題があった。何とか強力な野党第1会派を作りたい」と統一会派参加に意欲を示した。

野田氏は会派運営に関し「意思決定のあり方にはものを言っていきたい」と主張。社会保障政策について「財政的な裏付けとして消費税が必要だ。社会保障と税の一体改革の再構築が必要だ」と強調した。

また、既に立憲と参院で統一会派を組んでいる社民党は22日の常任幹事会で、参院で立憲、国民と統一会派を組むことを了承した。立憲からは衆院の会派合流も呼びかけられたが、衆院の統一会派には参加しない。

又市征治党首は記者会見で「参院の統一会派に国民がそのまま加わることはいい」と容認する一方、衆院の統一会派については「党の存在感を消滅させることはあってはならないという立場から丁重にお断り申し上げた」と明らかにした。【野間口陽、浜中慎哉】

立憲との統一会派 国民が党内手続き始める 会派名で異論相次ぐ

毎日新聞 2019年8月21日 20時11分(最終更新 8月21日 21時36分)



国民民主党総務会に臨む玉木雄一郎代表（中央）ら＝党本部で2019年8月21日午後4時、川田雅浩撮影

国民民主党は21日、立憲民主党との衆参両院の統一会派結成に向け、党内手続きを始めた。玉木雄一郎代表が同日の総務会で、20日の党首会談で合意した内容を報告し、了承された。立憲と会派運営協議会を速やかに設置し、会派名などを決めたいと、両院議員総会で了承を得ることを目指す。

会派名について、党首会談の合意文書は衆院が「立憲民主党・

国民フォーラム」、参院が「立憲民主党・国民・希望の会」を中心に検討するとした。総務会の出席者によると、正式名称の立憲に対し「国民」と略称で記されている点に異論が相次いだという。

立憲とは政策面で立場の違いもあり、小林正夫総務会長は立憲が掲げる原発ゼロ基本法案について「あの法案を私たちが容認したということではない」と記者団に語った。【浜中慎哉】

野田前首相ら立民・国民と合流協議へ 社民は参院党派離脱せず

日経新聞 2019/8/22 19:00

野田佳彦前首相が代表を務める衆院党派「社会保障を立て直す国民会議」は22日の総会で、立憲民主党と国民民主党の党派合流に向けて具体的な協議に参加すると決めた。近く設置される党派運営協議会に加わり、今後の政府提出法案への対応などを協議する。社民党は立民と国民民主の合流後も、参院の立民党派から離脱しないと決めた。



野田氏は総会后、記者団に「我々は社会保障を立て直すというところで活動してきた。そういうものが通しやすい空気をつくれるよう、ものを言っていきたい」と語った。23日には立民の枝野幸男代表に伝達する。

立民と国民民主は月内にも党派運営協議会で党派の意思決定手続きや運営方法などの検討を始める。「社保」は旧民進党系の無所属議員ら8人からなる。総会の出席者によると、協議会に加わることに異論は出ず「党派合流後ももしっかり我々の存在感を示すべきだ」などの意見が出た。

参院で立民と統一党派を組む社民党は22日の常任幹事会で、立民と国民民主の党派合流後も離脱しない方針を決めた。又市征治党首は同日の記者会見で、党派合流に関し「バラバラだった野党が統一対応していくことは与党への対抗力が全然違ってくる」と歓迎した。立民からの衆院党派に加わる要請を断った理由には次期衆院選に向けて「党の存在感を無くさないためだ」と語った。衆院で立民、国民民主、「社保」が同じ党派になると計117議席で、第2次安倍政権発足後の野党第1党派として最大となる。参院では立民、国民民主の党派を合わせると計60議席になる。

増税強硬派・野田前首相ら、立民党派に合流へ 政策不一致浮き彫り

産経新聞 2019. 8. 22 22:27

衆院議員8人でつくる衆院党派「社会保障を立て直す国民会議」（代表・野田佳彦前首相）は22日、国会内で総会を開き、立憲民主党の提案に応じ、党派合流に向けた具体的な協議に参加する方針を決めた。野田氏は23日、立民の枝野幸男代表と会談し、こうした意向を伝える。

野田氏は総会后、記者団に「合流に向け、党派運営協議会に代表者を出す。次のプロセスに入る」と述べ、立民との交渉を本格化させる考えを示した。「われわれを含めた無所属議員にとって居心地のいい党派、空気を作っていけるよう意思決定の在り方にはモノを言っていきたい」とも語った。

総会では「新党結成を目指すべきだ」といった党派合流への慎重意見も出たが、野田氏は「基本的には8人全員で最後までまとまって相談しながらやっていく」と強調した。

枝野氏は国民民主党の玉木雄一郎代表と衆参両院で統一党派を結成することで既に合意している。社保も加われば旧民進党勢力が再結集する形になるが、先行きは必ずしも明るくない。立民と国民に限っても原発政策や憲法観などで隔たりが目立つのに、社保が参加することで基本政策の不一致がさらに浮き彫りとなるからだ。

特に火種となりそうなのが消費税だ。野田氏は首相時代に税率10%への引き上げを決めた張本人。この日も記者団に「社会保障を立て直す議論をこれからも主導していく。財政的な裏付けとして消費税は必要だ」と明言した。

しかし、立民や国民は7月の参院選で消費税増税への反対を訴えたばかり。両党内には増税で旧民進党内の対立を激化させ、分裂と下野を招いた「戦犯」として野田氏への反発も根強く、党派として足並みをそろえられるかは不透明だ。

社保は野党の大同団結の成否も左右しそうだ。参院選で躍進したれいわ新選組は、消費税減税を最低条件に掲げて野党共闘を呼びかけているが、野田氏らの存在が遠心力として働く可能性は否定できない。（千葉倫之）

【点描・永田町】「国会の野良犬」山本太郎氏の野望

政治ジャーナリスト・泉 宏 2019年8月5日



第25回参院選で、街頭演説をする

「れいわ新選組」の山本太郎代表＝2019年7月12日、東京都港区【時事通信社】

「マジで政権を狙います」一。「勝者なき凡戦」とされた2019年の参院選で唯一、『れいわフィーバー』を巻き起こした山本太郎前参院議員（44）が、選挙後も真夏の夜の花火のように、永田町の空気を震わせ続けている。

「国会の野良犬」を自称する山本氏が、19年4月に1人で立ち上げた政治団体「れいわ新選組」は、参院選の比例代表で228万余の票をかき集め、2議席を獲得した。投票総数の4.55%

は、「得票2%以上」という政党要件を楽々クリアしており、名実共に「国政政党」となった。

山本氏が「れいわ」の旗揚げを発表したのは4月10日。新元号「令和」の公表直後で、政界では「令和フィーバーに悪乗りした『便乗商法』」（自民幹部）と嘲笑する向きが多かった。

しかし、永田町で「政界のアウトロー」と呼ばれる山本氏の常識破りの選挙戦略が「計算ずくで極めて強（したた）か」（自民長老）だったことが、既成政党を怯（おび）えさせた。

旗揚げとともに、ネットを利用した選挙資金集めは「あれよあれよという勢い」（山本事務所）で積み上がり、参院選投票開票日までの3カ月余りで、4億円を超えた。

山本氏は参院選を政治団体として戦うため、10人の公認候補を擁立したが、出馬する候補者それぞれの供託金（選挙区300万円、比例代表600万円）に加え、ピンク色で統一し「れいわ新選組」と大書したのぼりやチラシ、街頭演説のための宣伝カー借り上げなどの選挙グッズも、すべて募金で賄ったとされる。



第25回参院選で行われた「れいわ新選組」の街頭演説＝2019年7月12日、東京都港区【時事通信社】

都内の新宿、品川、新橋各ターミナルの駅前広場などで行った街頭演説には募金コーナーが設けられ、通りがかりの老若男女が列をなして、次々に500円玉、1000円札から1万円札までを募金箱に入れる光景が際立った。

★最新の内閣支持率はこちら。政党支持率はこちら
次期衆院選、どこから出るのか



第25回参院選で議席獲得が確実となり、支持者と喜ぶ「れいわ新選組」の山本太郎代表（右端）＝2019年7月21日夜、東京都千代田区【時事通信社】

今回改選だった山本氏は、比例の次点で落選した。

個人名での約99万の得票は、全比例候補者のトップで、過去の大量得票落選の記録も大幅に塗り替えた。選挙関係者も「今後もあり得ない不滅の金字塔」と舌を巻く。

それだけの集票力を持つ山本氏が次期衆院選出馬を明言したことで、既成各党は「どこから出るのか」と怯える。

山本氏は「選挙を盛り上げられるところから出たい」と、自民大物の選挙区への殴り込みも示唆する。その一方で、「次も落ち

たら話にならない」と計算高さにもじませる。「自民有力者の選挙区で勝てるどころ」というわけだ。

山本氏は国政選挙初挑戦の2012年衆院選で、石原伸晃元経済財政相が圧倒的に強い東京8区（杉並区）に、徒手空拳の無所属候補として殴り込み、他党候補を押しつけて7万票余を獲得して次点となった。

山本氏のこれからの集票力はその時とは段違いとみられるだけに、自民幹事長を務めた派閥領袖（りょうしゅう）の石原氏も「はらはらドキドキの心境」（自民幹部）だとされる。

もちろん、山本氏が発掘して今回擁立した各候補は、当選した2人の重度障害者、難病患者も含めて特定のグループを代表する個性派揃（ぞろ）いだ。

スキャンダルまみれで選挙基盤も脆弱（ぜいじゃく）な、自民党の「魔の3回生」たちの選挙区に『刺客』として送り込む戦術などで、「比例と選挙区で20議席以上狙える」（選挙アナリスト）との見方も広がる。

ただ、山本氏は「政権を目指すには100人以上の候補者が必要で、他党との協力が不可欠」とも語る。



参院本会議を終え、写真に納まる「れいわ新選組」の（右から）木村英子議員、山本太郎代表、船後靖彦議員＝2019年8月1日、東京・永田町の参院議員会館【時事通信社】

その場合、「消費税廃止」という看板政策が「大きなネック」（自民長老）となる。主要野党の立憲民主や国民民主も、消費税自体は認めているからだ。

山本氏は「取りあえず消費税5%でまともれば」と漏らす。だが、「調整は至難の業で、政権はまだ霞（かすみ）の彼方（かなた）」（首相経験者）というのが実情だ。

（時事通信社「地方行政」2019年8月5日号より）

官邸への訪問記録を発見！ところが…

NHK8月22日 15時41分



総理大臣官邸に、いつ、誰が、何の目的で訪れたか——それを知る手がかりになる文書があることが分かった。当初は情報公開でほぼ開示された、貴重な文書。ところが、一転して突然「黒塗り」に。いったい、何が起きたのか？
官邸訪問者の記録「存在しない」のか…
総理大臣官邸は、報道各社が番記者をおいて、そこに出入りする

人たちを日々取材している。この記事を読んでいるかたなら、新聞にもある「首相動静」の欄を見たことがあるだろう。



官邸は日本の最高の意思決定機関。ある政策がいつ、誰によって決定されていくのか、検証する上で欠かせない。だから、こういう取材をしている。

しかし、官邸の敷地への出入り口は少なくとも4か所あり、すべての訪問者を把握するのは容易ではない。秘密裏に面会を求めるケースもあるという。



なんとか、把握できる手段はないものか。そこで、毎日新聞社がこんな手段を使った。

ことし4月、安倍総理大臣と省庁幹部との面談で使われた説明資料や議事録などの記録およそ1年分を情報公開請求したのだ。



しかし、回答はすべて「不存在」だったと報じた。官邸もその後、こうした面談記録については官邸としては一切残していないと説明した。

やはり官邸の動きをつかむのは難しいのだろうか。

「官邸訪問予約届」という文書が存在
ところが、「面談」の手がかりになる記録が存在することが判明した。

入手したのは、東京のNPO「情報公開クリアリングハウス」の三木由希子理事長。



三木さんは長年、情報公開を通じて記録することの大切さや、知る権利の確保に取り組んできた専門家だ。公文書の保存を訴えていて、今回も廃棄されないよう、情報公開で資料を確保した。

それが、「官邸訪問予約届」という文書だ。



官邸を訪問する場合は、事前に予約し、さらに身分証との照合や本人確認も合わせて行われる。その手続きの際、作成されるのがこの「官邸訪問予約届」なのである。

「加計学園をめぐる国会答弁で、この官邸訪問予約届というものがあるのを知り、まず1日分(6月13日)だけ、請求しました。それで出てきたのがこの文書でした。官邸の動きをみる手がかりになると思いました」

これが、最初に公開された、平成29年6月13日の官邸訪問予約届だ。



一部が黒塗りにされているものの、3人の「防衛装備庁の職員」が、「島田総理大臣秘書官」に「ご説明」のため、「午後2時55分」に官邸を訪問する予定になっていたことが分かる。事実が淡々と書かれた、事務的な文書だが、面談記録が「不存在」な以上、重要な情報である。

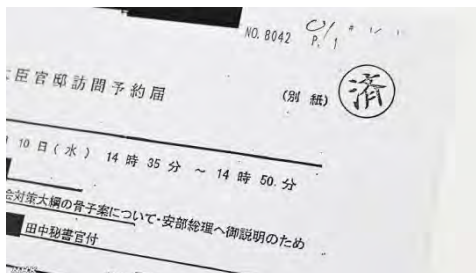
こうした文書が、1日分で26件にもものぼっていた。

実際に訪問していた

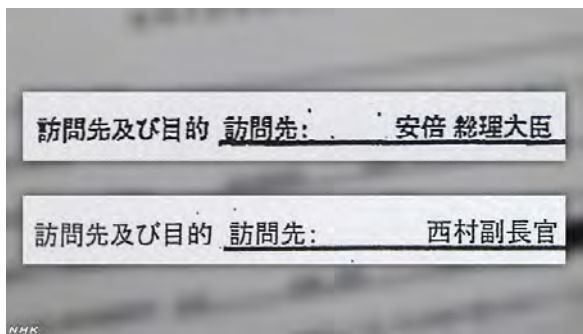
この訪問予約届、官邸では公文書管理法などで求められる保存期間は「1年未満」だと説明していて、実際には、1日で廃棄する取り扱いにしている。

そこで三木さんは、廃棄される前に請求するという手法で10日分を請求した。民間人の名前や、訪問先・訪問目的の一部などは黒塗りにされたが、やはり各省庁の官僚の名前や、地方自治体の首長・職員の名前は開示された。

「予約」という名前だが、官邸の事務担当者に聞いたところ、「訪問したことを示す資料」に等しいということだった。開示された文書には端に「済」という印が押されていて、訪問を終えたことをうかがわせる。



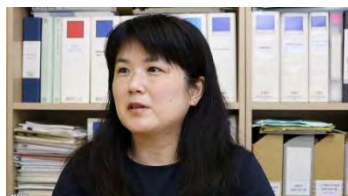
開示された文書に名前が載っていた数人に連絡をとったところ、やはり記録された日時に安倍総理大臣や西村官房副長官と面会したことを認めた。



首相動静には無い内容も注目は、総理大臣に常に付き従う秘書官との面会がいつ行われたかが確認できることだ。これは「首相動静」では分からない。開示された文書からは、秘書官への説明や報告のために、連日、各省庁の幹部らが官邸に足しげく通っていることが読み取れる。その数は、この10日間の分で確認できただけで30件余りにのぼった。

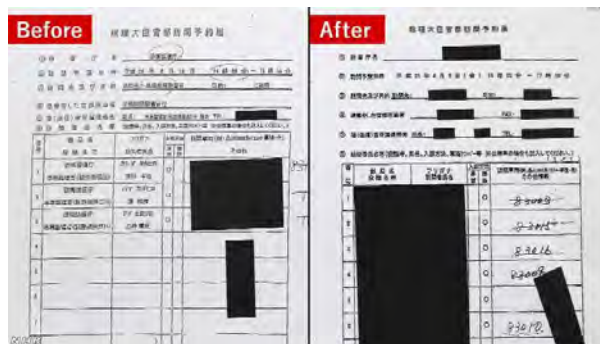


三木さんは、この文書の意義を語った。「官邸にいつ誰が行って誰と会ったのかは、権力へのアクセスみたいなものなので、そういう記録がきちんと残されていることが非常に重要なんです。それによって、特定の省庁と著しく偏重したやり取りがないかチェックできます。加計学園の獣医学部設置をめぐる問題のように、官邸で面会が行われたかどうかが議論になっても、記録がなければ、官邸側がなんとでも言ってしまうわけですね」



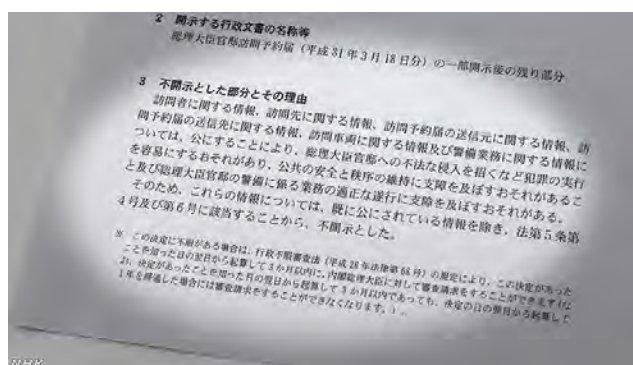
「これまで手がかりになる記録が少なかったのですが、訪問予約届は議論の材料になりうる情報が含まれていることがわかりました。社会にオープンにしていける必要があると思います」ところが！一転「黒塗り」に
とし3月から本格的にほぼ毎日、情報公開請求を行うことにした三木さん。
ところが、次に出てきた文書は、一転して真っ黒に塗られていた。その前に2度開示されていた各省庁の官僚の名前も、ほぼすべて

不開示になっていた。



不開示になった理由は、こう記されていた。

「公にすることにより、総理大臣官邸への不法な侵入を招くなど犯罪の実行を容易にするおそれがあり、公共の安全と秩序の維持に支障を及ぼすおそれがあること及び総理大臣官邸の警備に係る業務の適正な遂行に支障を及ぼすおそれがある」



ここまで2度、開示された資料が、突然黒塗りに。三木さんも「すでに訪問を終えた人の記録なのに、「警備に支障を及ぼす」といった不開示の理由は理解しがたい」と驚いていた。

なぜ、一転して黒塗りになったのか。官邸の文書管理を担当する内閣総務官室の中井亨内閣参事官に見解をただしたところ、こう回答した。

「訪問予約届は官邸の警備業務を行うための文書なので、警備に支障が生じるかどうかで判断しています。警備に関する事柄で詳しくは申し上げられません」一度決めた情報公開の判断を後退させたようにも見える、と尋ねると。

「以前も全部開示をしているわけではないので、情報公開法に照らして出す部分は出して、出せない部分は出さないということで判断しています。同じような請求であったとしても、それぞれ違う請求だとわれわれは思うので、時期や態様、請求の中身をみて、請求ごとに判断したということです」

「誤った方向に解釈を変えた」
今回の問題をどう見るか。公文書の管理や情報公開に詳しい東洋大学の早川和宏教授に話を伺うと、こんな疑問を口にした。



「記録されている情報に差はないはずなので、官邸側の価値判断が変わったということだと思います。訪問が行われる前に文書を出すのであれば、不開示にした理由に当たりますが、訪問日の後に文書を出しているの、それ以降の段階で不法な侵入を招くことはないし、警備に支障が出るともいえないでしょう。

不開示にあたるかどうかは、行政はかなり厳格に判断しなければならないのですが、誤った方向に法律の解釈を変えたように感じます。情報公開に対する姿勢が問われます」

そのうえで、現在は1日で廃棄する取り扱いにしている保管の在り方についても見直す必要があると提言している。

「政治に携わる方々も記録として残しておかないと、思い込みだけで事実と異なることを話してしまう懸念があります。政治に対する不信感が高まることになりかねないので、事後的に検証できるように、文書を1日で廃棄するのではなく、一定期間残しておく必要があると思います」



官邸の動向を知る貴重な手段となるはずだった文書。三木さんは今後、不開示の決定に対して不服審査請求を申し立てるといふ。この問題、引き続き取材していきたい。

表現の不自由展「再開を」 出展者らが都内で抗議集会

朝日新聞デジタル 関口佳代子 2019年8月22日 23時46分



「表現の不自由展・その後」

の中止をめぐる集会で発言する登壇者ら＝2019年8月22日午後9時12分、東京都文京区の文京区民センター、北野隆一撮影



国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」（津田大介芸術監督）の企画展「表現の不自由展・その後」が脅迫などで中止になったことを受けた抗議集会が22日、東京都内で開かれた。企

画展に作品を出した美術家らが出席し、「中止を既成事実にしてはいけない。再開しなければレイシズムやテロに屈することになる」と訴えた。

集会では、出展の意図や中止までの経緯などが報告された。昭和天皇を含む肖像群が燃える映像作品を出品した大浦信行さんは、約20分の映像作品の一部が切り取られて議論されていると主張。「20分見れば、単なる天皇批判ではないとわかるはず。エキセントリックに伝わって、非常にづらい」と語った。

元慰安婦の写真を展示した韓国人写真家の安世鴻（アンセホン）さんは出展していた作品をスクリーンに映しながら、背景を説明。2012年に、新宿のニコンサロンで元慰安婦の写真展がいったん中止されたことを挙げ、「7年前と同じか、もっと悪くなった。連帯して再開を求め、知る権利、表現の自由を守っていかねばならないと思う」と話した。（関口佳代子）

見る権利を奪わないでください…「不自由展」出展作家3組が再開求め声明

毎日新聞 2019年8月21日 05時00分(最終更新 8月21日 05時00分)



「あいちトリエンナーレ 2019」で展示されていた「平和の少女像」＝名古屋市東区の愛知芸術文化センターで2019年7月31日、大西岳彦撮影

愛知県で開催中の国際芸術祭「あいちトリエンナーレ 2019」内の企画展「表現の不自由展・その後」が中止になった問題で、企画展に出展した作家16組のうち3組が20日までに、芸術祭実行委員会に声明書をそれぞれ提出したことが判明した。企画展の再開と声明書の会場掲示などを求めた。

展示後に脅迫的な抗議があった、元従軍慰安婦を題材にした「平和の少女像」の作家、金運成（キムウンソン）、金曙昇（キムソギョン）夫妻も声明書を作成。中止されるまでの3日間を「（鑑賞する）日本人の姿は落ち着いていた」と振り返った上で、「脅迫に屈服する姿に、正義と真実さえ覆い隠そうとしているのではないかと疑いを持つ」と中止を決めた実行委を批判。

「展示を見る権利を日本の市民から奪わないでください」と再開を求めた。夫妻は元慰安婦の写真を出展した安世鴻（アンセホン）氏と連名で、実行委会長の大村秀章・同県知事らに面会も求めた。

また昭和天皇の肖像をモチーフにした作品を出展した大浦信行氏も声明書を提出。実行委から事前に中止説明がなかった点を「作家が蚊帳の外に置かれたまま事態が進んだ」と抗議し、「中止は『表現の自由』をないがしろにするもので、深い議論がなされたとは全く思えない」とした。【竹田直人】

表現の不自由展中止 津田大介さん「回復の手だてで全力で探る」 東京新聞 2019年8月22日 朝刊



八月一日から十月十四日まで愛知県で開催され、筆者が芸術監督を務める国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2019」内の一企画「表現の不自由展・その後」を巡って、連日メディアがさまざまな観点から報道している。現在進行中の事象であり、筆者は当事者でもあるため、今回は自身の考えを述べるより、ファクトベースで整理することで、この複雑な問題を理解する手助けをしたい。

元々の発端は、トリエンナーレ開幕前日、七月三十一日の中日新聞、朝日新聞の朝刊で「表現の不自由展・その後」の具体的な内容が報道され、その中に二〇一一年、在韓日本大使館前に設置された《平和の少女像》が含まれることが明らかになったことだ。一日に開幕してからは、同作品だけでなく、昭和天皇の肖像をカラージュした自作を燃やす映像作品を展示したことも含めて波紋を呼び、河村たかし名古屋市長や、松井一郎大阪市長が展示内容を批判。菅義偉官房長官は文化庁のトリエンナーレへの補助金交付について「事実関係を確認・精査した上で適切に対応していきたい」と述べた。

これらの発言も後押しとなり、連日トリエンナーレ事務局に大量の電話抗議や脅迫が殺到した。二日早朝には、ガソリンを使ったテロを示唆する脅迫ファクスまで届き、現場の事務局機能が完全に麻痺（まひ）してしまった。

現場の混乱の報告を受けた大村秀章愛知県知事（あいちトリエンナーレ実行委員会会長）は、このままでは円滑で安全な運営ができないと判断。三日十七時に記者会見を行い、三日をもって「表現の不自由展・その後」の展示を中止すると発表した。

ガソリンテロを予告したファクス脅迫犯は七日に逮捕されたが、五日から断続的に「県庁職員らを射殺する」「県内の小中学校、高校、保育園、幼稚園にガソリンを散布して着火する」といった脅迫メールが七百七十通、愛知県の関連施設に届いており、こちらの脅迫犯はいまだ逮捕されていない。

他方で、「表現の不自由展・その後」の展示中止は、ほかのトリエンナーレの参加作家にも大きな影響を及ぼした。展示中止を受け、韓国の二作家が展示を中断。十二日には、十一組の海外作家と芸術祭の国際現代美術展キュレーターの一部が連名でトリエンナーレ事務局に対する書簡を発表。今回の措置を「検閲」として批判し、検閲された作家への連帯を示すため、展示の一時休止や展示内容の変更措置を二十日から行っている。大村知事も

筆者も今回の件は政治家の圧力による「検閲」は否定しており、今回の件は「表現・文化・芸術に対する攻撃」として認識しているが、参加作家たちからは今回の措置が（結果的にであったとしても）「検閲に加担した」と見られているということだ。このことは重く受け止めなければならない。

今回は芸術分野で起きた騒動であるが、表現の自由が毀損（きそん）されたという意味では、メディアも対岸の火事ではいられない。作家や県民と議論しながら、残りの会期で毀損された表現の自由を回復する手だてを全力で探りたい。それが芸術監督として、ジャーナリストとしての責任の取り方であると思っている。

核廃絶署名を国連に提出 高校生平和大使

日経新聞 2019/8/21 12:03

【ジュネーブ=共同】核廃絶を訴える「高校生平和大使」が20日、スイス西部ジュネーブの国連欧州本部の軍縮部を訪問し、約1年かけて集めた21万筆以上の反核署名の目録を提出した。過去最多の23人の平和大使全員が、軍縮会議の事務取りまとめを担うカスパーセン部長らを前に演説した。

広島大付属高2年の松田小春さん（16）は、被爆者が減り記憶が風化したときに「核兵器の使用を真っ向から否定し、阻止しようとする人が何人いるでしょうか」と述べ、危機感をあらわにした。カスパーセン氏は、戦災や震災を知らない世代が増えれば「経験を伝えていくことが肝要だ」と、平和大使の活動を称賛した。

対馬丸犠牲者の冥福祈る＝疎開船撃沈75年で慰霊祭＝沖縄

時事通信 2019年08月22日 12時31分



対馬丸が撃沈されてから75年となる慰霊祭で黙とうする参列者＝22日午前、那覇市

太平洋戦争中、沖縄から長崎に向かっていた本土疎開船「対馬丸」が米潜水艦に撃沈されてから75年を迎えた22日、那覇市で慰霊祭が開かれた。出席した生存者や遺族ら約550人は慰霊碑「小桜の塔」の前で犠牲者の冥福を祈った。

慰霊祭では参加者が黙とうをささげた後、生存者を代表し、対馬丸記念会の高良政勝理事長（79）が「猛暑の中、暗い船室に閉じ込められ、どんなにつらかったことでしょう。私たちはこれからは戦争のない世界を希求します」と追悼の言葉を述べた。

「対馬丸」撃沈75年で慰霊祭 疎开学童ら千人超犠牲、沖縄
2019/8/22 12:40 (JST) 8/22 12:41 (JST) updated 共同通信社



学童疎開船「対馬丸」が撃沈された事件から75年となり、慰霊祭が開かれた那覇市の碑「小桜の塔」＝22日

午前

太平洋戦争後期に沖縄を出港した学童疎開船「対馬丸」が鹿児島県沖で米潜水艦に撃沈され、子どもら1500人近くが犠牲になった事件から75年となる22日、那覇市の碑「小桜の塔」で慰霊祭が開かれた。近くの対馬丸記念館では、悲劇を広く知ってもらおうと、この日から特別展を開催し、遺品の一部を初公開した。

強い日差しの下、参列した遺族や生存者らは、亡くなった人々の氏名を刻んだ碑の前で黙とう。対馬丸記念会の高良政勝理事長(79)は、一緒に乗船し命を落とした家族9人をはじめとする犠牲者に思いをはせ「これからも記念館を通し、争いや戦争のない世界を希求する」と誓った。



学童疎開船「対馬丸」が撃沈された事件から

75年となり、慰霊祭で追悼の言葉を述べる対馬丸記念会の高良政勝理事長＝22日午前、那覇市

対馬丸撃沈75年 児童ら1500人の冥福祈る 那覇で慰霊祭

毎日新聞 2019年8月22日 11時26分(最終更新 8月22日 12時34分)



対馬丸の慰霊祭会場に集

まった犠牲者の遺族や関係者ら＝那覇市の小桜の塔で2019年8月22日午前10時44分、遠藤孝康撮影

太平洋戦争中の1944年8月、学童疎開船「対馬丸」が米潜水艦に撃沈され、児童ら約1500人が亡くなって22日で75年となった。那覇市にある慰霊碑「小桜の塔」で慰霊祭があり、参列した遺族や生存者らが犠牲者の冥福を祈った。

対馬丸は44年8月21日夜、疎開する児童や市民ら約1800人を乗せて、那覇港を出港。長崎に向けて航行中の翌22日夜、鹿児島県・悪石島の北西約10キロの海上で米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没した。

慰霊祭では黙とうの後、家族で対馬丸に乗り、両親と7人のきょうだいを亡くした対馬丸記念会の高良(たから)政勝理事長(79)があいさつし、「この猛暑の中、皆様は暑い船室に閉じ込められていたのですね。どんなに暑かったことでしょうか。つらかったことでしょうか。争いや戦争のない世界を希求し、ご冥福を祈ります」と述べた。【遠藤孝康】

対馬丸撃沈、今も癒えぬ悲しみ 家族5人を失った男性 生き延びた後も続いた流転

毎日新聞 2019年8月22日 22時24分(最終更新 8月22日 22時58分)



母やきょうだいの名前が刻まれた小桜の塔に手を合わせる宜志富紹心さん(右から2人目)＝那覇市で2019年8月22日午後0時1分、遠藤孝康撮影

太平洋戦争中の1944年、沖縄から九州に向かった学童疎開船「対馬丸」が米潜水艦に撃沈され児童ら約1500人が亡くなって22日で75年となった。那覇市で慰霊祭があり、遺族や生存者ら約550人が冥福を祈った。慰霊祭には、当時11歳で船に乗り合わせた宜志富紹心(ぎしとみ・しょうしん)さん(86)＝沖縄県西原町＝も参列した。自身は漂流の末に救助されたが、母ときょうだい5人を失った。「今も事件のことを思い出して一人で泣くことがある」。75年たっても癒えぬ悲しみを胸に、静かに手を合わせた。

当時は沖縄本島北部の金武(きん)村(現・金武町)に暮らしていた。父を早くに亡くし母子家庭だった一家は戦火を避けるため、親戚を頼って本土疎開を決めた。1944年8月21日夜、対馬丸は那覇港を出港。母らは船室に入ったが、紹心さんは1歳だった弟を背負い甲板で過ごした。「やんちゃ坊主でよ。外の景色が見たくて甲板を前から後ろまで歩き回っていた」

翌22日夜、対馬丸が米潜水艦ボーフィン号から魚雷攻撃を受けた時も甲板にいた。3発目で船体が傾き、紹心さんはマストの一番先までよじ登った。下の方にも人が大勢いたが、間もなく船は沈没。浮袋を付けたまま海に放り出され、浮かんでいたいかだに乗った。船室にいた母やきょうだいの姿は見えなかった。

紹心さんの記憶では漂流は3日間にわたった。たるを見つけて大人が引き寄せ、中に残っていたしょうゆで飢えをしのいだ。最初は年下の子どもたちも含め約20人乗っていたが、カツオ漁船に救助された時には5人ほどになっていた。「背中に弟がいたはずだが、いつのまにかたすき掛けした帯だけが残っていた」

家族を失い、熊本での疎開生活を経て終戦の2年後、沖縄に戻ったが、親族は冷たかった。「何であんた一人生き残ったのか」と言われ、傷付き、故郷を離れた。米軍人のハウスボーイや軍のトラック運転手、大工など仕事を転々としながら、戦後を生きた。



米軍魚雷で沈没した学童疎開船・対馬丸

「対馬丸のことはできるだけ考えないようにして生きてきた。考えれば頭が狂う」。紹心さんはそう言う。ただ、慰霊祭には毎年、足を運んできた。家のたんすには「8月22日」と書かれた紙が貼られている。

妻ヨシ子さん(73)との間に5人の子どもを授かり、今は孫が15人、ひ孫が10人いる。「親きょうだいの分まで家族に恵まれた。何の心配もない」と紹心さん。75年の節目の日も犠牲者の名前が刻まれた「小桜の塔」に手を合わせた。今年も元気であると報告し、弟に思いをはせた。「生きていれば80歳近くになっていた。安らかに……」【遠藤孝康】

対馬丸撃沈から75年の慰霊祭 吉永小百合さんがメッセージ 「いつまでも忘れないことが大切」

毎日新聞2019年8月22日 17時28分(最終更新 8月22日 17時40分)



対馬丸慰霊祭で犠牲者の名前が

記された小桜の塔に手を合わせる参列者＝那覇市で2019年8月22日午前11時55分、遠藤孝康撮影

太平洋戦争中の1944年、沖縄から九州に向かった学童疎開船「対馬丸」が米潜水艦に撃沈され児童ら約1500人が亡くなって22日で75年となった。那覇市で慰霊祭があり、遺族や生存者ら約550人が冥福を祈った。

慰霊碑「小桜の塔」で黙とうの後、家族で対馬丸に乗り、両親ときょうだい7人を亡くした対馬丸記念会の高良(たから)政勝理事長(79)が「猛暑の中、皆様は暗い船室に閉じ込められ、どんなに暑かったことでしょう。つらかったことでしょう」と述べた。

また、2004年に開館した対馬丸記念館の紹介ビデオでナレーションを務めた女優、吉永小百合さんが「命を奪われた多くの子供たち、家族、そして先生達(たち)のことを私達はしっかりと胸に刻んで、いまを生きる。いつまでも忘れないことが大切です」とメッセージを寄せ、参列者に配られた。

対馬丸は44年8月21日夜、疎開する児童や市民ら約1800人を乗せて那覇港を出港。長崎に向け航行中の翌22日夜、鹿児島県・悪石島の北西約10キロの海上で米潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没した。【遠藤孝康】

「対馬丸」撃沈75年、沖縄・那覇で慰霊祭 疎開学童ら千人超犠牲

日経新聞2019/8/22 11:37 (2019/8/22 13:13 更新)

太平洋戦争後期に沖縄を出港した学童疎開船「対馬丸」が鹿児島県沖で米潜水艦に撃沈され、子どもら1500人近くが犠牲になった事件から75年となる22日、那覇市の碑「小桜の塔」で慰霊祭が開かれた。近くの対馬丸記念館では、悲劇を広く知ってもらお

うと、この日から特別展を開催し、遺品の一部を初公開した。

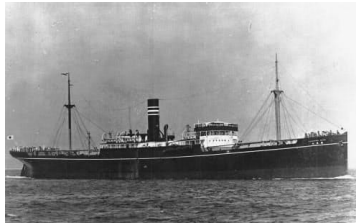


学童疎開船「対馬丸」が撃沈された事

件から75年となり、慰霊祭で黙とうする参列者(22日午前、那覇市)＝共同

強い日差しの下、遺族や生存者ら約550人は、亡くなった人々の氏名を刻んだ碑の前で黙とう。対馬丸記念会の高良政勝理事長(79)は、一緒に乗船し命を落とした家族9人をはじめとする犠牲者に思いをはせ「これからも記念館を通し、争いや戦争のない世界を希求する」と誓った。

兄2人を失った沖縄県北谷町の玉城京子さん(71)は、小学生の孫娘らと共に参列し「両親は、安全と思い兄を乗船させた。孫たちがあんな目に遭わぬよう、平和が続いてほしい」と涙ぐんだ。対馬丸記念館によると、1944年8月21日、那覇港から長崎に向け出港。翌22日夜、鹿児島県・トカラ列島の悪石島沖で米海軍の潜水艦ボーフィン号から魚雷攻撃を受け、約10分後に沈没した。国民学校の学童や教員、家族での疎開者ら1788人が乗船したとされる。判明している犠牲者数は1484人。



学童疎開船「対馬丸」＝共同

政府は戦後、船体の引き揚げは不可能と判断し、代替案として2004年に記念館が開館した。撃沈75年の特別展では、遺品の教科書や親元に届いた行方不明の証明書などを9月29日まで公開する。

大阪府大阪狭山市から訪れた高校3年の芝辻琴音さん(18)は「自分より年下の子たちの遺品を見て、苦しくなった。史実を伝えていかないといけない」と真剣な表情で語った。

22日午後には広島市でも慰霊式が開かれる。〔共同〕

しんぶん赤旗2019年8月23日(金)

那覇 「対馬丸」児童ら追悼 疎開船撃沈75年 不戦誓い合う



(写真) 疎開船「対馬丸」撃

沈事件の犠牲者に祈りをささげる参列者＝22日、那覇市
太平洋戦争末期、沖縄県から出航した本土への疎開船「対馬丸」が米軍潜水艦に撃沈され、児童や一般の疎開者など1484人



「母の心の傷を癒やしてあげたかった」

と悔やむ久場富子さん＝22 日、那覇市の「小桜の塔」(新里圭蔵撮影)

幼い子どもたちを乗せた対馬丸が海の底に沈んで 75 年となった 22 日、慰霊祭が開かれた那覇市若狭の「小桜の塔」には例年より 100 人以上多い参列者が集まり、鎮魂の祈りをささげた。生還した肉親が経験した戦後の苦しみを理解してあげられなかったと悔やむ遺族、目の前で亡くした友人や家族を思い涙を流す生存者一。犠牲になった子どもたちが夢見た「未来」を生きる人たちが、平和を守り続けることを誓った。

「母の苦しみを分かってくれたかった」。久場富子さん(64)＝北中城村＝は昨年亡くなった母を思い、小桜の塔の前で涙した。

母の屋宜信子さん(享年 91)は 18 歳のとき、8 歳、6 歳の弟 2 人と、4 歳の妹を連れて対馬丸に乗船し、信子さんだけが助かった。ただ、そのことを長年語らず、うっすらと聞かされていたのはきょうだい犠牲になったということだけ。小学生のころの課題で、両親から戦争体験を聞くときも、母は決まって「忘れた」の一言で会話を終わらせていた。

母が生存者だと知ったのは約 25 年前。親族から聞かされた。それでも、詳しいことは聞かせてもらえなかった。対馬丸撃沈から 75 年、今回の慰霊祭の前日に改めて親族から詳しい話を聞いた。幼いきょうだいは港で乗船を嫌がったこと。母は 3 人を抱えてイカダで漂流していたが、3 人が手から離れて海に沈んだこと…。「母も死のうとしたけど一緒に漂流していた男性に助けられたそうです。母の罪悪感はどうですか」。久場さんは言葉を詰まらせた。

ドアが閉まる音にも飛び上がるほど驚き、つらいことがあると「あのとき死んでいれば」とつぶやいていた母。久場さんは「あのとき」の詳細を知り、初めて母が背負ってきた十字架の重さを分かったという。

慰霊祭には、家族で作った千羽鶴をささげた。「母は戦争でたくさんつらい思いをした。母のような思いを誰にもさせたくない」。今後、母の話を家族や親族にも聞かせようと思っている。

池宮城洋さん(73)と晃さん(70)の兄弟＝那覇市＝は、対馬丸で犠牲になった叔母菊子さん＝当時(13)＝を思い、小桜の塔に手を合わせた。

菊子さんの写真も遺品もない。「どのような最期だったのか気になっていた」という 2 人は 2 年前、対馬丸記念館を頼り、菊子さんを知る生存者を探した。見つかった女性によると、甲板にいた菊子さんは魚雷攻撃を受け、海に投げ出されたという。明るく、

(氏名判明者)が犠牲になった事件から 75 年を迎えた 22 日、那覇市の「小桜の塔」で犠牲者を追悼する「対馬丸慰霊祭」(対馬丸記念会主催)が行われ、約 550 人が参加しました。

氏名が判明した犠牲者数は昨年から変動はありませんでした。遺族の申し出により新たに学童 4 人、船員 1 人の写真が集まり、同市内にある「対馬丸記念館」に、同日から掲示される遺影の数は 387 人分となりました。

「追悼のことば」で対馬丸記念会の高良政勝理事長は「私たちはこれからも争いや戦争のない世界を希求し、犠牲者の御霊(みたま)の安らかなご冥福を祈る」と述べました。

公務のために出席がかなわなかった玉城デニー県知事の弔辞を、謝花喜一郎副知事が代読。「悲劇が二度と繰り返されることのないよう、この犠牲の教訓を次の世代へ正しく語り継ぎ、不戦の誓いと世界の恒久平和の実現に向けて、今後も全身全霊をささげていく」と表明しました。

城間幹子市長は、今を生きる人たちには「二度と愚かな悲惨な戦争を起ささないという固い決意を持って、未来を築いていく責任がある」と訴えました。

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員や先月に参院沖縄選挙区で初当選した「オール沖縄」の高良鉄美参院議員など、沖縄選出の国会議員らも参列しました。

「奪われた命 胸に刻み、いまを生きる」 対馬丸慰霊祭に吉永小百合さんがメッセージ

琉球新報 2019 年 8 月 23 日 10:17



対馬丸慰霊祭に合わせ直筆メッセージを寄

せた吉永小百合さん＝2016 年、東京

慰霊祭に合わせ、対馬丸記念館開館以前から交流がある女優吉永小百合さん(74)から直筆のメッセージが贈られた。慰霊祭では原寸大のコピーが参列者に配られた。オリジナルは記念館 1 階で展示している。

吉永さんは 2003 年に対馬丸の悲劇を伝えるビデオのナレーションを担当した。対馬丸記念会の外間邦子常務理事によると、吉永さんは撃沈 75 年の今年、記念館を訪ねるつもりだったがというが、多忙で断念。代わりにメッセージが届いたという。

色紙には「船とともに命を奪われた多くの子供たち、家族そして先生達のことを私達はしっかりと胸に刻んで、いまを生きる。いつまでも忘れないことが大切です」と記されており、「二度と戦争をしないという強い思いのなかで」と結ばれている。

「あの時死んでいれば」とつぶやいた母 75 年前起きたことは何だったのか 娘は母の「あの時」をたどる

元気が良かったという菊子さんの人となりも分かり「ふと心のもやもやが解けた」と洋さんは話す。

晃さんは「対馬丸の悲劇を後世に継承していくことが大切だ」と語る。池宮城家の墓の横には、菊子さんと満州で戦病死した叔父を弔う碑がある。墓掃除や墓参りには子や孫を連れて行き、2人の話を聞かせているという。

これまでも、戦時中に使われていた国民学校の制服や教科書を全国から収集し、記念館に寄贈してきた。今後も協力するつもりだといい「悲劇と教訓を記録として残さなければならない。それが遺族としての務めだ」と語る。

対馬丸が米潜水艦の魚雷攻撃を受けた22日夜、対馬丸記念館(那覇市)の屋上で追悼の集いが行われた。記念館開館から節目の年に開催し、今回で5回目となる集いには、生存者や遺族ら30人が参列した。

遺族の渡口眞常対馬丸記念会副理事長(69)が般若心経を読経。対馬丸が攻撃を受けた時刻と同じ午後10時12分、汽笛の音に合わせて対馬丸が沈没した鹿児島県・悪石島沖の方角に向かい黙とうした。その後、スチール製の折り鶴をささげ、手を合わせた。2人の姉を亡くした外間邦子常務理事(80)は「鶴に乗って皆さんの慰霊の気持ちが、悪石島の海底に眠る子どもたちに届いたと思う」と述べた。

吉永小百合さんからメッセージも 犠牲者 1484 人の鎮魂祈る 対馬丸撃沈から 75 年で慰霊祭

琉球新報 2019 年 8 月 22 日 14:27



対馬丸撃沈事件で亡くなった多

くの犠牲者の鎮魂を祈る生存者や遺族、関係者＝22日正午すぎ、那覇市若狭の小桜の塔

太平洋戦争中に児童や一般の疎開者らを乗せた「対馬丸」が米潜水艦に撃沈され、1484人が犠牲になった事件から75年となった22日、那覇市若狭の小桜の塔で慰霊祭が開かれた。生存者や遺族ら約550人が参列し、犠牲者の鎮魂を祈った。

午前11時、強い日差しが照りつける中、犠牲者の名前が刻まれた小桜の塔の前で、参列者は黙とうした。那覇市内の小学生でつくる、つしま丸児童合唱団は「小桜の塔のうた」や「ふるさと」を合唱し、平和を願った。

自身は助かったものの家族9人が命を落とした対馬丸記念会の高良政勝理事長(79)は追悼のあいさつで「これからも記念館を通し、争いや戦争のない世界を希求する」と誓った。

慰霊祭には、記念館の建設前に記念会が作製したPRビデオでナレーションを担当した女優の吉永小百合さんから「船とともに命を奪われた多くの子どもたち、家族そして先生たちのことを私たちはしっかりと胸に刻んで、いまを生きる。いつまでも忘れないことが大切です。二度と戦争をしないという強い思いのなかで」

というメッセージが寄せられた。

疎開者1661人を含む1788人を乗せた対馬丸は1944年8月21日、那覇港から長崎に向けて出港。翌22日午後10時12分、鹿児島県の悪石島沖で米潜水艦の魚雷攻撃を受け、11分後の同23分に沈没した。氏名が分かっているだけで1484人が犠牲になった。対馬丸撃沈から60年後の2004年8月22日には、国の慰謝事業として対馬丸記念館が開館。犠牲者の氏名が刻銘されているほか、今年新たに追加された5人を含む387人の遺影が展示されている。

【琉球新報電子版】

教科書、2人の遺骨代わり 対馬丸撃沈で姉と兄犠牲・久保さん、記念館に寄贈

琉球新報 2019 年 8 月 22 日 07:00



久保光子さんが対馬丸

記念館に寄贈した姉岩城初枝さんと兄宗英さんの教科書＝20日午後、那覇市の対馬丸記念館

児童や一般の疎開者を乗せた「対馬丸」が米潜水艦の魚雷に沈められて22日で75年を迎える。姉と兄が犠牲になった鹿児島県始良市の久保光子さん(81)＝那覇市出身＝は今年6月、遺骨代わりに大切に保管してきた遺品の教科書を対馬丸記念館(那覇市)に寄贈した。教科書は22日から始まる特別展で展示される。久保さんは「子どもたちに犠牲になった姉たちが使っていた教科書を見てもらい、平和のありがたさを感じてほしい」と願う。

犠牲になった2人は岩城初枝さん＝当時(11)＝と宗英さん＝同(8)。当時5歳だった久保さんは、初枝さんと駄菓子を買に行ったり宗英さんとセミ捕りしたりした日々を懐かしむ。年が近かった宗英さんとは、よく遠出して家に帰るのが遅くなり、父に怒られたことが思い出。

久保さん一家は対馬丸撃沈の直後、憲兵だった親族から「日本は戦争に負ける。沖縄は危ないから病院船に乗って逃げなさい」と助言され、那覇から鹿児島県に移った。久保さんは対馬丸が撃沈されたことは聞かされておらず「九州に行けば会えるだろうと思っていた」という。

鹿児島に移った2年後、2人の名前が記された柳ごうりが熊本県内の海岸に打ち上げられている、と警察から連絡があった。柳ごうりには、対馬丸乗船時に持たせた衣類や教科書が入っていた。父がそれらを熊本から持ち帰り、久保さんら残ったきょうだいに2人の死を打ち明けたという。

さらに、母から聞かされて驚いたことがある。母は久保さんも一緒に疎開させようとしていた。ただ、幼い久保さんは「船内で泣くだろうから迷惑」と、姉が拒否したのだという。久保さんは

「今考えれば、姉が私の命を救ってくれたんですね」と涙する。戦後、教科書は風呂敷に包んで花と共に棚に供え、家族で手を合わせてきた。「2人の遺骨の代わりに、大切にしてきた」。両親の死後は残ったきょうだいで大切に保管してきたが、年齢を考えて今年6月末、記念館に寄贈したのだという。久保さんは「記念館で活用していただければ、2人の供養にもなると思う」と話している。

(高田佳典)



■きょう那覇で慰霊祭

対馬丸記念会(高良政勝理事長)は22日午前11時から、那覇市若狭の旭ヶ丘公園にある小桜の塔で慰霊祭を行う。

午後10時から公園内にある対馬丸記念館の屋上で追悼集会を開き、攻撃を受けた午後10時12分に合わせて関係者が祈りをささげる。

対馬丸には児童や一般の疎開者ら1661人を含む1788人が乗船したとされ、名前が確認された犠牲者は1484人に上る。開館15年を迎える記念館では22日から9月29日まで特別展「対馬丸75年の想い」が催される。遺族が寄贈した教科書や直筆のはがきなどの、初公開の資料が展示される。

■1484人犠牲、戦時遭難戦で最多

対馬丸の乗船者

疎開者 (児童、一般)	1,661人
船員	86人
船舶砲兵隊員	41人
合計	1,788人

対馬丸撃沈による犠牲者 (氏名判別者数)

疎開者	(児童)	784人
	(引率・世話人)	30人
	(一般疎開)	625人
船員	24人	
船舶砲兵隊員	21人	
合計	1,484人	

※2019年8月21日現在

太平洋戦争時、日本政府は南西諸島での戦闘の「足手まとい」になる住民を移動し、軍の食料を確保することを主な目的として、

県民を九州や台湾に疎開させることを決めた。県内の国民学校から集められた児童らを中心に、「対馬丸」には疎開児童や船員ら計1788人が乗船。撃沈で児童784人を含む1484人(氏名判別者数、2019年8月21日時点)が犠牲になった。県関係の戦時遭難船舶は26隻あるが、対馬丸は最も多くの犠牲が出たとみられる。

県外への疎開には、日本軍の兵士らを沖縄に連れてきた貨物船や軍艦が利用された。1944年8月19日に対馬丸、暁空(ぎょうくう)丸、和浦(かずうら)丸の貨物船3隻で中国から数千人の兵士を運んで那覇港へ入港。この時、既に米潜水艦ボーフィン号に追跡されていた。

同21日には疎開する児童らが対馬丸に乗り込み、午後6時35分に長崎へ向けて那覇港を出港した。途中、米軍のレーダーを感知した船団は、潜水艦の魚雷を避けるため蛇行航行して九州へ向かおうと試みる。だが対馬丸は老朽船で、船団の中で速度が最も遅く、潜水艦の格好の標的となった。

米軍は日本側が使用していた暗号の解読に成功しており、ボーフィン号は船団が通過する悪石島海域に先回りして待ち伏せた。22日午後10時12分、対馬丸に向けて発射した魚雷攻撃が命中し、黒煙を上げて同10時23分、沈没した。

10分足らずで沈没して、船内から逃げ出せなかった児童らの多くが犠牲になった。生存者は、漁船や哨戒船に救助されたり、周辺の島に漂流したりした約280人だけだった。

「いつまでも忘れないこと」 吉永小百合さん 対馬丸記念館へメッセージ 戦争で撃沈、犠牲の児童らに想い

沖縄タイムス 2019年8月22日 19:56

対馬丸記念館(沖縄県那覇市)の開館15周年に当たる今年、記念館のプロモーションビデオでナレーションを吹き込んだ女優の吉永小百合さんが記念館にメッセージを寄せた。プロモーションビデオは対馬丸の沈没の経緯や記念館の概要などを伝える内容で、対馬丸記念館が吉永さんにナレーションを依頼。開館前からPR活動で使用されていた。



吉永小百合さん



吉永小百合さんが対馬丸記念館に寄せたメッセージ=22日、那覇市・対馬丸記念館

吉永さんはメッセージの中で対馬丸で犠牲になった子どもたちについて触れ、「私達はしっかりと胸に刻んで、いまを生きる。いつまでも忘れないことが大切です。二度と戦争をしないという強い思いのなかで「吉永小百合」と色紙にしたための。

慰霊祭では、色紙と原寸大に印刷されたメッセージが参加者に配布され、受け取った人たちはじっくりと見入っていた。

吉永さんは、過去に映画「あゝひめゆりの塔」（日活、1968年）で女学生を演じた。各地で原爆詩の朗読も長年続けている。

横浜市が IR 誘致表明、4カ所目 山下ふ頭に整備、競争激化へ

2019/8/22 18:21 (JST) 共同通信社



横浜市中区の山下ふ頭＝20日（共同通信社ヘリから）

横浜市の林文字子市長は22日、カジノを含む統合型リゾート施設（IR）を誘致すると正式表明した。観光名所の山下公園に隣接する横浜港・山下ふ頭（中区）に整備し、2020年代後半の開業を目指す。誘致表明は大阪府・市、和歌山、長崎両県に続き4カ所目となる。ほかに北海道や千葉市など検討中の地域もあるが、立地区域は最大3カ所。早ければ20年中とみられる決定に向け、競争が激化しそうだ。

政府は4月、入場制限などギャンブル依存症対策に関する基本計画を閣議決定している。ただ、実効性には疑問の声もあり、IR開業にはなお懸念がある。

横浜市、カジノ誘致を表明…山下ふ頭を候補地に

読売新聞 2019/08/22



IR誘致を表明する林市長（22日、横浜市役所で）

横浜市の林文字子市長は22日、カジノを含む統合型リゾート（IR）を誘致する方針を表明した。候補地として、同市中区の山下公園に隣接する山下ふ頭（47ヘクタール）を挙げ、2021年度頃に国に申請する区域整備計画を策定し、開業のめどは20年代後半とした。

IR参入に前向きな複数の事業者から計画を聞き取った結果、

経済波及効果は年6300億～1兆円という。少子高齢化で今後、市財政の悪化が予想され、林市長は記者会見で「IRで財政への増収効果が見込まれる」と、誘致の判断に至った理由を説明した。

林市長は当初、誘致に前向きだったが、市民の間にギャンブル依存症や治安悪化を懸念する声が強いことに配慮。3選に臨んだ17年の市長選の前に「白紙状態」とトーンダウンした経緯がある。林市長は市民の懸念に対し、入場回数制限を設けたIR実施法、カジノ面積の上限を定めた施行令などを挙げ、「世界最高水準のカジノ規制。治安悪化への対策を強化する態勢が整ってきた」と説明した。



横浜市がIRの立地

場所として想定している山下ふ頭（昨年11月、横浜市中区で）＝鬼頭朋子撮影

山下ふ頭は再開発が予定され、倉庫などの移転が進んでいる。ただ、誘致に反対する港湾関係者の倉庫の半数以上が残り、横浜港運協会は23日、誘致に抗議する会見を開催する予定だ。林市長は移転補償などを丁寧に説明し、市民向け説明会も自身で出向いて理解を求めの方針を示した。

IR実施法は国内で3カ所まで設置を認めており、大阪府・市、和歌山、長崎両県が誘致を表明。北海道や東京都、千葉市も誘致を検討している。

横浜市長、IR誘致を表明 関東圏初 ギャンブル依存など懸念の声も

毎日新聞 2019年8月22日 20時15分（最終更新 8月22日 23時53分）



横浜市中区の山下ふ頭＝20日、

共同通信社ヘリから

横浜市の林文字子市長は22日、横浜港山下ふ頭（横浜市中区、約47ヘクタール）にカジノを含む統合型リゾート（IR）を誘致する意向を記者会見で表明した。大阪府・市、和歌山県、長崎県に続く表明で、関東圏では初となる。一方、市民の間にはギャン

ブル依存症への懸念や街のイメージの問題などから根強い反対意見もある。ふ頭に関わる業者団体も反対姿勢を鮮明にしており、難航しそうだ。

林氏は、IR 整備区域選定基準などを定める国の基本方針が近く公表されることや他自治体の動向を踏まえ、「(誘致表明は) この時期だと判断した」と述べた。また「横浜の将来に強い危機感がある」という表現を繰り返し、将来的に人口減少に転じて税収が減少する市の財政を支えるには、誘致による収入が不可欠と強調した。

林氏は IR が開業した場合の経済波及効果を年 6300 億～1 兆円、市の増収を 820 億～1200 億円と試算。ギャンブル依存症対策も講じた上で「発展を続けるためには IR を実現する必要がある」と述べた。今後、市内各区で市民説明会を開いて林氏が説明する方針で、IR 事業者を決定し、2020 年代後半の開業を目指すという。

一方、誘致に反対する市民ら数十人が 22 日午後、誘致反対の署名を手に横浜市役所の市長室前に詰めかけ、林氏に面会を求め一幕があった。市の担当者が「担当部署で対応する」と応じると、市民らは激しく抗議。一時騒然となった。

市が昨年実施したパブリックコメントでは、IR に関する市民意見 433 件のうち 9 割以上が誘致に否定的だった。また、業者団体「横浜港運協会」は、誘致するならば会員企業がふ頭を立ち退くことはないとして、断固反対の姿勢を強調している。IR 実施法は開設区域を国内最大 3 カ所としている。【田中義宏、樋口淳也】

米カジノ大手、大阪 IR 見送り 横浜に注力

毎日新聞 2019 年 8 月 22 日 20 時 00 分(最終更新 8 月 22 日 20 時 16 分)

IR 誘致の動きがある 主な自治体



IR 誘致の動きが

ある主な自治体=共同

米カジノ大手のラスベガス・サンズは 22 日、横浜市がカジノを含む統合型リゾート (IR) の誘致を発表したことを受け、検討していた大阪市での IR 参入を見送ると発表した。同社は「東京と横浜での開発の機会に注力する」とコメントしている。

大阪では、大阪湾の人工島・夢洲 (大阪市此花区) への IR 誘致を目指す大阪府と大阪市が、今年 5 月までカジノ事業者から事業概要 (コンセプト) を募る独自の事業者登録を実施。同社はこれに申し込んでいた 7 者のうちの 1 者だった。【釣田祐喜】

横浜市が IR 誘致表明 林市長「白紙」一転

東京新聞 2019 年 8 月 23 日 朝刊

カジノを含む統合型リゾート施設 (IR) の誘致先となる山下ふ頭= 22 日午前、横浜市中区で、本社へ「あさづる」から (淡路久喜撮影)



横浜市の林文子市長は二十二日、カジノを含む統合型リゾート施設 (IR) の誘致を正式に表明した。誘致表明は首都圏の自治体で初めて。観光名所の山下公園に隣接する山下ふ頭 (同市中区、四十七ヘクタール) に、二〇二〇年代後半の開業を目指す。しかし、市民にはギャンブル依存症や治安悪化への不安が強い上、林市長が「IR 誘致は白紙」としていた姿勢を突然変えたとして反発が高まっている。(杉戸祐子)

林市長はこの日の記者会見で、「横浜の将来に対する強い危機感」を誘致の理由に挙げた。市の人口は一九年の三百七十三万人をピークに減少に転じて六五年は三百二十万人に。高齢化率は一九年の 25% から六五年には 36% に上がり、消費や税収の減少が見込まれる。

記者会見する横浜市の林文子市長= 22 日午後、横浜市役所で



市は IR の開業によって法人市民税や入場料収入などで年間八百二十億～千二百億円の増収効果があると試算する。林市長は「これまでになく経済的、社会的効果を想定している」と期待感を示した。

市は九月に始まる市議会定例会に、誘致に向けた専門的な調査分析や依存症の実態調査などの費用として、二億六千万円の補正予算案を提出する。国が秋以降に示す基本方針に基づき実施方針を策定し、IR 事業者を選定。市議会の議決を経て二一年度までに国に申請する計画だ。

林市長はもともと誘致に前向きだったが、三選を果たした一七年七月の市長選の半年前に姿勢を転換し、「白紙」としていた。今回の誘致表明について、「判断を変えたということではない」と強調し、「各都市が手を挙げる中、決断してチームを動かさないといけない」と説明した。依存症や治安の悪化に対する不安には、全十八区で市民説明会を開く方針を示し、「IR について丁寧に説明したい」と繰り返した。



しんぶん赤旗 2019年8月23日(金)
横浜市長 カジノ誘致 会見で表明 市民ら抗議の宣伝



(写真) 抗議の訴えを

聞く市民ら＝22日、横浜市役所前

横浜市の林文子市長は22日の定例会見で、山下ふ頭（中区、47ヘクタール）を候補地に、カジノを中核とする統合型リゾート（IR）を誘致すると表明し「日本型IR成功のモデルになりたい」と語りました。

同日、市庁舎前では、カジノ誘致に反対する市民らが「絶対に許さない」などと声を上げました。

林市長は、IR誘致により経済波及効果（建設時）7500億円や雇用創出効果（運営時）7万7千人、増収効果1200億円が見込めるとするカジノ事業者らによる試算を取り上げ、カジノ誘致の効果をバラ色に描いて「横浜においてIRを実現する必要があると判断した」と述べました。

治安悪化やギャンブル依存症の問題について、林市長は、IR整備法やギャンブル等依存症対策基本法などを挙げ「最高の厳しい規制であり、これは大丈夫と確信に至った」と住民の不安に背を向ける姿勢を示しました。林市長は、住民投票実施を改めて否定。市長選でも「白紙」と主張し3選したことについては「（市民を）裏切ったという考えはない」と強弁しました。

一方、林市長は、何をもちて市民の理解が得られたとするのかなどの具体的な質問に対しては、まともに答えられませんでした。

市は、2020年代後半のIR開業を予定。9月の市議会定例会に、調査費用約3億円を計上した補正予算案を提出する予定です。